

歯科保存学 1

| | | |
|-----|----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学則科目責任者 |
| 3年次 | 通年 | 小方 頼昌 (歯周治療学) |

| | |
|--------------------|--|
| 学修目標 (G I O) と 単位数 | <p>単位数：9単位</p> <p>G I O：歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床では、患者の訴え（疼痛、腫脹、動揺など）を聞き取る医療面接から始まり、訴えの原因や病態を探る検査を経て診断および処置方針の決定し、処置がされ、さらに経過の観察、機能の維持へと進行する。これらの進行が適切に行えるようになるために、歯科保存学の知識、技能を習得する。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応などまた、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域と、保存修復学、歯内療法学、歯周治療学の各論領域から構成される。</p> |
| 評価方法 (E V) | <p>1. 保存総論（平常試験を1回実施し、追再試は行わない）。</p> <p>2. 保存修復学（平常試験を4回（前期2回、後期4回）実施し、成績評価の60%とする。再試験は行わない。実習は、実習作製物の評価（60%）、実習ポスト試験成績（10%）、実技試験（10%）および実習口頭試問（2回実施、20%）を総合的に評価し成績評価の40%とする。</p> <p>3. 歯内療法学（平常試験4回、実習）の総合評価とする。平常試験は、原則的に再試験は行わない。</p> <p>4. 歯周治療学（平常試験2回、実習実技試験1回実施）の総合評価とする。平常試験は、原則的に再試験は行わない。</p> <p>4. 1/5以上欠席した場合、評価点は0～60点とする。</p> |

保存学総論

| | | |
|-----|----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 小方 頼昌 (歯周治療学) |

| | |
|----------------------|---|
| 学修ユニット学修目標 (G I O) | <p>歯科保存学は、う蝕、歯髄炎または歯周病などの疾患に陥った歯および歯を支える歯周組織を歯を抜かずに本来有している口腔の機能を維持・回復するための治療学であり、それらの疾患に罹患しないよう予防する学問である。歯科保存学は、保存修復学、歯内療法学および歯周治療学の3つの学問からなり、これらの学問が有機的に連携することで、歯および歯周組織の機能の維持を図ることができる。歯科保存学は日常臨床で、高頻度に遭遇する疾患であり、歯、歯周組織の機能を維持するためには、3つの学問を連携して学ぶ必要がある。</p> <p>臨床学科目である歯科保存学を習得するための正常な組織の形態と機能、原因に対する生体の反応性、治療に用いる材料など今までに学んだ事項と臨床を連携する歯科保存学の総論領域を学ぶ。</p> |
| 担当教員 | 岡田 裕之、玉村 亮、河野 哲朗、齋藤 真規、松島 潔、小方 頼昌 |
| 教科書 | 2年次に使用した、組織学、細菌学、生化学、生理学の教科書 臨床歯周病学 吉江弘正ほか 医歯薬出版 |
| 実習器材 | なし |
| 評価方法 (E V) | 平常試験を1回実施する。原則として追再試は行わない。 |
| 学生へのメッセージ オフィスアワー | 保存治療を行う上で、2年次で学んだ基礎が将来役立つと考えられることから、復習のために、保存学総論講義を行う。したがって不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|--|------|
| 2018/04/05 (木) 4時限 14:50～16:20 | 総論講義①：歯・歯髄・歯周組織の構造・機能 | <p>【授業の一般目標】 歯の治療ができるようになるため、象牙質・歯髄の発生・構造・機能について修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①象牙質・歯髄の構造と機能について説明できる。 2. ②象牙質・歯髄の発生について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 象牙質・歯髄の発生と組織構造について説明できる。 2年次組織学教科書「カラーアトラス 口腔組織発生学 (第4版)」(わかば出版) P. 37～55を熟読すること (目安時間60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> | 玉村 亮 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------|---|-------|
| 2018/04/05 (木) 4時限 14:50～16:20 | 総論講義①：歯・ 歯髄・歯周組織の 構造・機能 | アクティブラーニング無、黒板、スライド、プリント 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 a エナメル質、象牙質、歯髄 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 | 玉村 亮 |
| 2018/04/12 (木) 3時限 13:10～14:40 | 総論講義②：歯・ 歯髄・歯周組織の 構造・機能 | 【授業の一般目標】 歯および歯周組織の治療が出来るようになるために、エナメル質、歯槽骨および歯根膜の構造について習得する。 【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質の構造について説明できる。 2. 歯槽骨と歯根膜の構造について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 エナメル質の構造が列挙できる。 歯槽骨と歯根膜の構造を列挙できる。 2年次「組織・発生学」の教科書「カラーアトラス 口腔組織発生学（第4版）」（わかば出版）P.57-86を熟読すること（目安時間90分）。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、プリント配布 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系（骨格系（関節を含む）、筋系、呼吸器系、循環器系（脈管系）、消化器系（歯および唾液腺を含む）、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系） 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ④歯（乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む）の硬組織の構造、機能及び構成成分を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。 | 河野 哲朗 |
| 2018/04/19 (木) 3時限 13:10～14:40 | 総論講義③：う蝕 の細菌学 | 【授業の一般目標】 う蝕に関与する微生物と発症機序について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. う蝕原性細菌の種類と性状を説明できる。 2. う蝕の発症メカニズムを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕原性細菌を説明できる。（準備学習時間60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 【学修方略（L S）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物 c 感染症 | 齋藤 真規 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------|---|-------|
| 2018/04/19 (木) 3時限 13:10~14:40 | 総論講義③：う蝕の細菌学 | <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ①細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p> | 齋藤 真規 |
| 2018/04/26 (木) 3時限 13:10~14:40 | 総論講義④：歯周病の細菌学 | <p>【授業の一般目標】 歯周病の特徴とそれに関与する微生物を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周病原細菌の特徴を説明できる。 2. 各種歯周病に関連する微生物を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周病原細菌について説明できる。(準備学習時間60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 b 病原微生物</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ①細菌、真菌、ウイルス及び原虫の基本的な構造と性状を説明できる。 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p> | 齋藤 真規 |
| 2018/05/10 (木) 4時限 14:50~16:20 | 総論講義⑤：口腔粘膜と唾液腺 | <p>【授業の一般目標】 歯および歯周組織の治療が出来るようになるために、口腔粘膜および唾液腺の発生および構造について習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔粘膜の基本的な構造について説明できる。 2. 口腔粘膜の機能的分類と特徴について説明できる。 3. 唾液腺の種類と構造を理解する。 4. 唾液腺の発生を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口腔粘膜の基本的な構造を列挙できる。 口腔粘膜の機能的分類と特徴を列挙できる。 唾液腺の種類と構造を列挙できる。 唾液腺の発生を列挙できる。 2年次「組織・発生学」の教科書「カラーアトラス 口腔組織発生学 (第4版)」(わかば出版) P.103-122を熟読すること(目安時間90分)。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、プリント配布 パワーポイント講義</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器・生殖器系、神経系、内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 C 生命科学 C-3 人体の構造と機能 C-3-4) 身体を構成する組織と器官 C-3-4) - (1) 上皮組織と皮膚・粘膜系 ①上皮組織の形態、機能及び分布を説明できる。 ②皮膚と粘膜の基本的な構造と機能を説明できる。 ③腺の構造と分布及び分泌機構を説明できる。</p> | 岡田 裕之 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------|--|------|
| 2018/05/11 (金) 3時限 13:10～14:40 | 総論講義⑥：痛みの伝達 | <p>【授業の一般目標】 歯および歯の周囲の痛みを理解できるようになるために、痛みの伝達を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①痛みの伝達のメカニズムを説明できる。 2. ②神経線維の種類と痛みの種類の関連を説明できる。 3. ③歯痛錯誤を説明できる。 4. ④歯髄の除痛法、鎮静法および薬剤について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄、歯周組織の神経支配を説明できる。 疼痛閾値について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ケ 疼痛 d 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ケ 疼痛 a 侵害受容性疼痛 b 神経障害性疼痛 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/05/11 (金) 4時限 14:50～16:20 | 総論講義⑥：痛みの伝達 | <p>【授業の一般目標】 歯および歯の周囲の痛みを理解できるようになるために、痛みの伝達を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①痛みの伝達のメカニズムを説明できる。 2. ②神経線維の種類と痛みの種類の関連を説明できる。 3. ③歯痛錯誤を説明できる。 4. ④歯髄の除痛法、鎮静法および薬剤について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄、歯周組織の神経支配を説明できる。 疼痛閾値について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 301教室</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ケ 疼痛 d 口腔・顔面領域の疼痛</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 ケ 疼痛 a 侵害受容性疼痛 b 神経障害性疼痛 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2018/05/11 (金) 4時限 14:50～16:20 | 総論講義⑥：痛み の伝達 | E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。 ⑤歯痛の機序を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2018/05/24 (木) 3時限 13:10～14:40 | 総論講義⑧：感染 と免疫機構 骨代 謝 歯周病と全身 疾患 | <p>【授業の一般目標】 生体防御機構を説明できる。 骨形成と骨吸収の関係を理解する。 歯周病と全身疾患の関係を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 免疫機構の概要を説明できる。 2. 免疫担当細胞の機能と連携を説明できる。 3. 骨のリモデリングと全身および局所因子による調節機構を説明できる。 4. 歯周病と全身疾患の関係を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 免疫担当細胞の種類と働きを予習する。骨代謝の全身および局所因子を予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、板書、プリントおよびパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 j 歯周疾患と健康の関わり</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 小方 頼昌 |
| 2018/06/01 (金) 3時限 13:10～14:40 | 平常試験 (総論1) ：総論講義①～⑧ の範囲、解説講義 | <p>【授業の一般目標】 歯科の2大疾患疾患であるう蝕と歯周炎の治療を行うために、保存修復学、歯 内療法学、歯周治療学の目的を修得し、基礎教科との関連性を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保存学の基礎となる解剖、組織、細菌学を復習し、理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。(目安時間 90分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、筆記 (記述式) 試験</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ④歯 (乳歯、根未完成歯、幼若永久歯を含む) の硬組織の構造、機能及び構成 成分を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。</p> | 岡田 裕之 玉村 亮 河野 哲朗 齋藤 真規 松島 潔 小方 頼昌 |

歯周治療学

| | | |
|-----|----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 小方 頼昌 (歯周治療学) |

| | |
|---------------------------|---|
| 学修ユニット 学修目標 (G I O) | 日本国民の歯周病の罹患率は、歯肉炎が約43%、歯周炎が約30%であり、その罹患率を年齢別にみると20歳前後で65%、50歳前後では90%以上になる。さらに歯周病は、糖尿病を含む様々な全身疾患と関連する生活習慣病であることから、その予防と治療の社会的意義はきわめて大きい。そのため、一生自分の歯で美味しく食事ができるような良好な口腔環境が維持できるように歯周病を予防または治療することを目的とする学問である。重度歯周炎では、歯の動揺や移動、歯肉の腫れや痛みを伴うことから、適切な診断と治療計画に則った治療が要求される。的確な検査と診断、歯周治療が行えるようになるために、歯周治療学の知識、技能を習得する。 |
| 担当教員 | 小方 頼昌、中山 洋平、吉野 祥一、高井 英樹、目澤 優、加藤 彩子、蔦森 麻衣、相羽 悠喜子、山田 真莉子、内之浦 理奈、井澤 侑美、齋藤 由未、岩井 泰伸、高井 瑞穂、能田 佳祐、小田 香織、※若林 健史 |
| 教科書 | 臨床歯周病学 第2版 吉江弘正ほか 医歯薬出版 歯周治療学実習帳 歯周治療学講座編 |
| 参考図書 | 歯周外科 見て学んでではじめるガイド 小方頼昌 編著 クインテッセンス出版 ザ・ペリオドントロジー 第2版 和泉雄一ほか 永末書店 ライチャークカラーアトラス歯周病学 第3版 日本臨床歯周病学会 永末書店 コーエン審美再建歯周外科カラーアトラス 鴨井久一ほか 西村書店 |
| 実習器材 | 顎歯模型、歯周外科治療用器具一式 |
| 評価方法 (E V) | 平常試験2回、実習実技試験1回の平均とする。原則的に追再試験は実施しない。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 歯周治療は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われる。そのため、適切な診断、治療が行えるように、基礎医学から臨床まで系統だった講義を行う。日頃から授業前後の勉強を欠かさずすることが不可欠です。実習では、臨床の場を想定して主にファントム (マネキン) 実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---|-------|
| 2018/09/19 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯周治療学① 総論、正常歯周組織、歯周組織の構造と機能 | <p>【授業の一般目標】 正常歯周組織の形態学的特徴および生理学、生化学的特徴を理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正常歯周組織の各部の名所を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 基礎科目で学習した、歯周組織の解剖学的、生理的、生化学特徴を復習する。 (目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、板書およびパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 イ 組織と性状 b 歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。</p> | 小方 頼昌 |
| 2018/09/26 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯周治療学② 歯周病の疫学、歯周病の罹患状況 | <p>【授業の一般目標】 疫学的調査により歯周病の罹患状況を理解する。疫学的評価法を学ぶ。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯科の2大疾患と歯周病の罹患状況を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周病と他の歯科疾患の罹患率を比較する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、板書およびパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> | 中山 洋平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|-------|
| 2018/09/26 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学② 歯周病の疫学、歯周病の罹患状況 | 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。 | 中山 洋平 |
| 2018/10/03 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学③ 歯周病の病因と成り立ち、プラークと歯石、バイオフィルム、歯周病における微生物の役割、病原メカニズム | 【授業の一般目標】 歯周病と歯周病原菌（バイオフィルム）の関係、炎症との関係を理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. プラークと歯石の構造と臨床的意味を理解する。 【準備学修項目と準備学修時間】 プラークと歯石、歯周病原菌について予習する。（目安時間 60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 板書およびパワーポイント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 カ 感染症 c 感染症 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ④口腔細菌、プラーク（口腔バイオフィルム）及び歯石を説明できる。 | 高井 英樹 |
| 2018/10/17 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学④ 歯周病の症状と徴候、歯周組織検査①、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベル | 【授業の一般目標】 歯周病の臨床像について理解し、その症状を学ぶ。歯周病検査、歯周病の画像診断、歯肉の炎症、歯の動揺、骨吸収、歯周ポケット、アタッチメントレベルについて学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病の症状と特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周病の臨床像について予習をする。（目安時間 60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、板書とパワーポイント 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織検査 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。 | 吉野 祥一 |
| 2018/10/24 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑤ 歯周病の病態と病変の進行、歯周病の臨床像、歯周病の分類 | 【授業の一般目標】 歯周病の臨床所見を理解し、分類とその特徴について学ぶ。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病の臨床所見と分類を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯周病の臨床所見を予習する。（目安時間 60分） 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、板書とパワーポイント 【学修方略（LS）】 講義 | 目澤 優 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|-------|
| 2018/10/24 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑤ 歯周病の病態と病変の進行、歯周病の臨床像、歯周病の分類 | <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 イ 歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 目澤 優 |
| 2018/10/31 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑦ 根分岐部病変、歯内一歯周病変、歯周基本治療 | <p>【授業の一般目標】 根分岐部病変の原因と治療について理解する。 歯内一歯周病変について学ぶ。 歯周治療の流れを説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 根分岐部病変と歯内一歯周病変の分類について説明できる。 2. 歯周基本治療で実施する項目を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根分岐部病変および歯内一歯周病変の分類を予習する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 i 歯周-歯内病変</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 f 根分岐部病変の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p> | 加藤 彩子 |
| 2018/11/07 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑥ 歯周病の病因論、宿主防御反応、全身疾患と歯周疾患の関係 | <p>【授業の一般目標】 歯周病における宿主防御過程について学ぶ。全身疾患と歯周病との関係を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周病と関連する全身疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周病と全身疾患との関係を調べる。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、板書およびパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ア 歯周疾患の病因と病態 j 歯周疾患と健康の関わり</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ①歯周疾患の症状及び全身疾患との関連を説明できる（疾患の細胞レベル、分子生物学的レベルでの説明を含む）。</p> | 小方 頼昌 |
| 2018/11/14 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯周治療学⑧ 咬合と歯周病、歯の動揺と移動、歯肉 | <p>【授業の一般目標】 咬合性外傷の原因と病変の進行について学ぶ。歯周治療と補綴、矯正治療との関係について学ぶ。歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、治療方法、知覚過敏処置</p> | 中山 洋平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|---|---|
| | の増殖と退縮、歯根露出、知覚過敏症への対応 | <p>について学ぶ。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 咬合性外傷、歯肉歯槽粘膜の病変とその原因、知覚過敏処について学ぶ。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 咬合性外傷、歯の動揺、歯根露出、知覚過敏について予習をする。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 c 合性外傷に対する治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。</p> | 中山 洋平 |
| 2018/11/21 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑨ 歯周病検査 | <p>【授業の一般目標】 歯周治療の流れを理解する。歯周病検査の意義と内容を説明できる。歯周病検査の結果を基に、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査（基本検査、精密検査）の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周病検査項目と歯周治療の流れについて予習を行う。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 c 歯周組織検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ⑤歯周治療後の組織の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 高井 英樹 |
| 2018/11/21 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1) | <p>【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周治療の進め方を説明できる。 2. 歯周病検査の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を再確認する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室、板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 鳥森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞穂 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|--|
| 2018/11/21 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1) | <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。</p> | <p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞徳 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史</p> |
| 2018/11/21 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯周治療総論器具の配布、器具・実習マニュアルの説明、歯周病検査(1) | <p>【授業の一般目標】 歯周治療で使用する器具の名称、使用方法、使用目的を説明できる。歯周治療の進め方を理解する。歯周病検査の意義を説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周治療の進め方を説明できる。 2. 歯周病検査の項目を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周治療に使用する器具の名称、使用方法と目的を再確認する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室、板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 12 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 b 歯周組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | <p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞徳 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史</p> |
| 2018/11/28 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑩ 歯周基本治療(1) 口腔衛生指導 ブラッシング指導 ブラックコントロール | <p>【授業の一般目標】 歯周基本治療で行う項目を列挙できる。歯周基本治療の目的とその治療内容について説明できる。ブラッシング指導とブラックコントロールについて理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周基本治療で行う内容を説明できる。 2. 口腔衛生指導に重要性を理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周基本治療の目的および項目を予習する。（目安時間 45分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針（メンテナンス法を含む）を説明できる。</p> | 吉野 祥一 |
| 2018/11/28 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯周基本治療1、歯周病検査(2)、歯周病の検査・診 | <p>【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入がで</p> | <p>小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| | 断・治療計画、 プロトコルの記 入、人工歯石の塗 布 | <p>きる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周病検査（歯周精密検査）の項目を再確認する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 b 歯周組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ①診察、検査及び診断に必要な事項を列挙できる。 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。</p> | 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 |
| 2018/11/28 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯周基本治療1、 歯周病検査(2)、 歯周病の検査・診 断・治療計画、 プロトコルの記 入、人工歯石の塗 布 | <p>【授業の一般目標】 歯周精密検査を行い、検査結果を基に診断および治療計画を立案することができる。歯周基本治療で行う治療内容を説明できる。歯周精密検査表の記入ができる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯周治療の流れを説明できる。 2. 歯周病検査の結果、診断および治療計画の立案ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周病検査（歯周精密検査）の項目を再確認する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 オ 口腔・顎顔面の検査 b 歯周組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-1) 診察の基本 ②診察、検査及び診断に必要な器材を説明できる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 井上 英子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 |
| 2018/12/05 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学① 歯 周基本治療(2) スケーリング | <p>【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を理解する。スケーリングに際し、適切なスケーラーを選択できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 スケーラーの種類と特徴を予習する。（目安時間 45分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患</p> | 目澤 優 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|---|
| 2018/12/05 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学① 歯周基本治療(2) スケーリング | ウ 歯周疾患の治療 a 急性症状を有する歯周疾患への対応 【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。 | 目澤 優 |
| 2018/12/05 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯周基本治療2、ブラッシング、補助清掃器具の使用法 | 【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用方法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ブラッシング法とその特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ブラッシング法とその特徴を再確認する。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ③歯周治療の術式と適応症を説明できる。 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞徳 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史 |
| 2018/12/05 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯周基本治療2、ブラッシング、補助清掃器具の使用法 | 【授業の一般目標】 ブラッシング法の種類を列挙できる。歯ブラシおよび補助清掃器具の選択と使用方法を説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. ブラッシング法とその特徴を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 ブラッシング法とその特徴を再確認する。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室 板書とパワーポイント 第4実習室 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (3) 歯周疾患の診断と治療 ②歯周疾患の検査法、診断及び治療方針 (メインテナンス法を含む) を説明できる。 | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞徳 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史 |
| 2018/12/12 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学② 歯周基本治療(3) スケーリング・ルートプレーニング① | 【授業の一般目標】 スケーリング・ルートプレーニングに際し、適切なキュレットが選択でき、正しいポジションについて説明できる。 【行動目標 (SBOs)】 1. スケーリング・ルートプレーニング時の正しいポジションを説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 スケーリング・ルートプレーニング時の正しいポジションを再確認する。(目安時間 60分) 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 板書とパワーポイント 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 | 加藤 彩子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2018/12/12 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑫ 歯周基本治療(3) スケーリング・ルートプレーニング① | <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 加藤 彩子 |
| 2018/12/12 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯周基本治療3、スケーリング、スケーリング時のポジショニング、スケーラーの使用法(カマ型スケーラー)、人工歯石の塗布 | <p>【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 スケーラーの種類とその使用法を予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞穂 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史 |
| 2018/12/12 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯周基本治療3、スケーリング、スケーリング時のポジショニング、スケーラーの使用法(カマ型スケーラー)、人工歯石の塗布 | <p>【授業の一般目標】 スケーリングの目的と方法を説明できる。スケーリングに使用する器具を選択でき、使用できる。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. スケーラーの種類とその特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 スケーラーの種類とその使用法を予習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞穂 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史 |
| 2018/12/19 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑬、歯周基本治療(4)、スケーリング・ルートプレーニング②、スケーラーの研磨、診査・診断 | <p>【授業の一般目標】 スケーラーおよびキュレットの適切な研磨ができる。歯周病検査の結果の分析、診断について学ぶ。ルートプレーニングの目的と方法を理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ルートプレーニングの目的と方法を理解する。 2. スケーラーおよびキュレットの適切な研磨法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 スケーラー研磨法、ルートプレーニングの目的を予習する。(目安時間 45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | 中山 洋平 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 2018/12/19 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学⑬、歯周基本治療(4)、スケーリング・ルートプレーニング②、スケーラーの研磨、診査・診断 | <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 中山 洋平 |
| 2018/12/19 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯周基本治療4、スケーリング・ルートプレーニング①、スケーラーの使用法、グレーシーキュレット | <p>【授業の一般目標】</p> <p>スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>グレーシーキュレットの使用法を予習する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング有、301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 高井 優 目澤 彩子 加藤 麻衣 藤森 悠喜子 相羽 真莉子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 藤井 泰伸 岩井 瑞穂 高井 佳祐 能田 香織 小田 香織 若林 健史 |
| 2018/12/19 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯周基本治療4、スケーリング・ルートプレーニング①、スケーラーの使用法、グレーシーキュレット | <p>【授業の一般目標】</p> <p>スケーラーおよびキュレットの使用法を習得する。スケーリングに際して、正しいポジショニングを習得する。スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. スケーリングとルートプレーニングの違いを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>グレーシーキュレットの使用法を再確認する。（目安時間 60分）</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング有、301教室 板書とパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 高井 優 目澤 彩子 加藤 麻衣 藤森 悠喜子 相羽 真莉子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 藤井 泰伸 岩井 瑞穂 高井 佳祐 能田 香織 小田 香織 若林 健史 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|---|
| 2018/12/19 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯周基本治療4、 スケーリング・ルー トプレーニング①、 スケーラーの使用 法、グレーシーキ ュレット | | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞徳 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史 |
| 2019/01/16 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯周治療学④、歯 周基本治療の進め 方、歯周基本治療 の意義 | <p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周基本治療について再復習する。(目安時間 45分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 c 歯周治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ③歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 高井 英樹 |
| 2019/01/16 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯周基本治療5、 スケーリング・ルー トプレーニング②、 スケーラーの研磨 | <p>【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スケーラーおよびキュレットの選択、使用法 およびポジショニングを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ルートプレーニングを実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ルートプレーニングに関して復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室 板書およびパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 蔦森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞徳 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史 |
| 2019/01/16 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯周基本治療5、 スケーリング・ルー トプレーニング②、 | <p>【授業の一般目標】 ルートプレーニングに際しての、スケーラーおよびキュレットの選択、使用法 およびポジショニングを習得する。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--|
| | スケーラーの研磨 | <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ルートプレーニングを実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ルートプレーニングに関して復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング有、301教室 板書およびパワーポイント 第4実習室</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 鳥森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 岩井 泰伸 高井 瑞穂 能田 佳祐 小田 香織 若林 健史 |
| 2019/01/23 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯周治療学⑮、歯周基本治療まとめ、平常試験①、解説講義 | <p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周基本治療全般について復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 |
| 2019/01/23 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯周治療学⑯、歯周基本治療まとめ、平常試験①、解説講義 | <p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周基本治療全般について復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 |
| 2019/01/23 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯周基本治療まとめ、実習試験①、実技、解説講義 | <p>【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 吉野 祥一 高井 英樹 目澤 優 加藤 彩子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|---|
| 2019/01/23 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯周基本治療まとめ、実習試験①、実技、解説講義 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 実習で行った内容を再復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、第4実習室</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 葛森 麻衣 相羽 悠喜子 山田 真莉子 内之浦 理奈 井澤 侑美 齋藤 由未 藤井 泰伸 岩井 瑞徳 高井 佳祐 能田 佳香 小田 織史 若林 健史 |
| 2019/01/23 (水) 4時限 14:50~16:20 | 歯周基本治療まとめ、実習試験②、実技、解説講義 | <p>【授業の一般目標】 歯周治療における歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周基本治療の意義について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 実習で行った内容を再復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室、第4実習室</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 d 歯周治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 野祥 一樹 吉野 優 高井 彩子 目澤 麻衣 加藤 悠喜子 藤森 真莉子 葛森 理奈 相羽 侑美 山田 由未 内之浦 泰伸 井澤 瑞徳 齋藤 佳祐 藤井 佳香 岩井 織史 高井 健史 |
| 2019/01/30 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯周基本治療まとめ、平常試験②、解説講義 | <p>【授業の一般目標】 歯周基本治療の意義について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯周基本治療の進め方を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周基本治療の内容について再復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 中山 洋平 野祥 一樹 吉野 英樹 高井 優 目澤 彩子 加藤 彩子 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---|-------|
| 2019/01/30 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯周基本治療まとめ、平常試験②、解説講義 客員教授授業 | <p>【授業の一般目標】 歯周病の症状を患者に適切に伝えることができる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 治療を受ける患者の心理状態や理解度を配慮できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯周基本治療で行う内容をまとめ再復習する。(目安時間 60分)</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング無、301教室 板書とパワーポイント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 3 歯周疾患 ウ 歯周疾患の治療 b 歯周基本治療</p> <p>【コアカリキュラム】 G 臨床実習 G-3 基本的臨床技能 ⑥歯周基本治療ができる。</p> | 小方 頼昌 |

保存修復学

| | | |
|-----|----|---------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 平山 聡司 (保存修復学) |

| | |
|--------------------------|---|
| 学修ユニット 学修目標 (GIO) | <p>保存修復学は、歯の硬組織に生じた部分的な欠損や病変の診断と治療法を学び、修復した歯をできるだけ長期間、機能的且つ審美的に良好な状態で口腔内に保たせることを目的とする学問である。</p> <p>前期では、総論と間接修復法の中でも「非接着修復法」であるメタルインレー修復について学修する。総論の内容としては、齶蝕原因菌の細菌学的特徴、硬組織疾患の種類と予防、検査方法、治療に用いる器材薬剤と窩洞の名称等についてである。そして、種々の症例に適応した修復材料の特徴を理解するために、メタルインレー修復を通して修復材料の材料学的、臨床的特徴について学修し、さらに回転切削器具による窩洞形成を行い、印象採得からワックスアップ・埋没操作等の技工操作を含めたメタルインレー修復の実習を行う。これらの学修内容は、臨床において必要不可欠となる歯式や窩洞の名称だけでなく、使用する材料、器具等の名称とその使用目的を学ぶこととなる。これは、臨床の基礎であり、今後の授業あるいは実習内容を理解するための基本となる。</p> <p>後期は、齶蝕治療の基本概念であるMinimal Intervention Dentistry に基づいた窩洞形成と接着修復法であるコンポジットレジン修復やグラスアイオノマーセメント修復を学修する。特にコンポジットレジン修復は齶蝕治療の主流であり、歯の硬組織欠損や歯の損耗および歯の変色を機能的かつ審美的に修復することができ、健康歯質の保存により歯の寿命を延伸できる処置である。更に、コンポジットレジン修復では処置できない比較的大きな歯の欠損については、間接審美修復法としてセラミックインレー修復やレジンインレー修復を学修すると共に、歯の変色に対する生活歯の漂白法や象牙質知覚過敏症の診断と処置方針に関する知識、態度および技能を修得する。</p> |
| 担当教員 | 平山 聡司、神谷 直孝、岡田 珠美、岩井 啓寿、寺中 文字、中島 光、大塚 一聖、井上 棕介、島田 裕美子、塚原 弾、※青野 英二、※熱田 互、※飯泉 淳、※飯田 浩雅、壹岐 宏二、※伊東 哲明、※岩井 仁寿、※大村 基守、※金杉 紀明、※木村 大、※庫山 未希、※小泉 直也、※高鹿 志保、※小西 美徳、齶藤 千春、※笹本 恭子、※塩 秀明、※杉山 道紀、鈴木 英明、※須原 秀宜、関根 哲子、※田川 剛士、※常田 幸斉、※富久田 梢、※富田 行秀、※中川 整、※並木 泰次、※深澤 正幹、※藤川 謙次、※細野 隆也、※山本 憲廣、※若松 尚吾、※渡邊 康夫 |
| 教科書 | 保存修復学 第6版 千田 彰、寺下正道、寺中敏夫、宮崎真至 [編] 医歯薬出版 Operative Dentistry Laboratory Manual 2018 平山 聡司、神谷 直孝、岡田 珠美、岩井 啓寿、寺中 文字、中島 光、大塚 一聖 保存修復学講座 |
| 参考図書 | 第五版 保存修復学21 田上順次、奈良陽一郎、山本一世、齶藤隆史 [監修] 永末書店 保存修復サイドリーダー 河野善治、平山聡司、鈴木英明 学建書院 |
| 評価方法 (EV) | 保存修復学における評価は、講義と実習の評価割合を以下のように判定する。 1) 講義に関する平常試験を4回(前期2回、後期2回)実施し、その総合評価の60%。なお、正当な理由がある場合のみ平常試験の追試験を行う。成績不振者については再試験を行う場合がある。 2) 実習は、実習作製物の評価(60%)、実習ポスト試験成績(10%)、実技試験(10%)および実習口頭試問(2回実施、20%)を総合的に評価し、その評価の40%。なお、正当な理由がある場合のみ実習実技試験と口頭試問の追試験を行う。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 保存修復治療は、一般歯科治療の中でも高頻度に行われる処置である。したがって、3年次で学んだことが歯科医療人としての医療知識や技術を左右するといっても過言ではない。毎回の講義・実習での学修を大切にして欲しい。 なお、オフィスアワーは特に設定しないが、質問がある場合は随時、保存修復学講座医局または教授室で受け付ける。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|-------|
| 2018/04/05 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義①: 保存修復学概説、硬組織疾患の種類 | <p>【授業の一般目標】 健康で豊かな口腔機能を維持増進させるために、保存修復学の概念と修復処置の対象となる硬組織疾患の種類および治療に用いる修復材料と切削器具の変遷について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 保存修復学の概念と目的について説明できる。 2. 修復材料に関する歴史について説明できる。 3. 歯の切削器具に関する歴史について説明できる。 4. 歯の硬組織疾患の種類について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 1~5、pp. 13~20を読んでおく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 8 主要な症候 イ 口腔・顎顔面領域の症候 b 歯の症候 (齶蝕、硬組織欠損、変色、亀裂、破折)</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---|-------|
| 2018/04/05 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義①: 保存 修復学概説、硬組 織疾患の種類 | <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2018/04/12 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義②: う蝕 以外の歯の硬組織 疾患 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>歯の硬組織に生じた欠損に対して適切な診断と処置が行えるようになるために、その原因と特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. う蝕以外の歯の硬組織疾患を列挙できる。 2. Tooth Wearについて説明できる。 3. クサビ状欠損の原因と特徴について説明できる。 4. 摩耗症の原因と特徴について説明できる。 5. 咬耗症の原因と特徴について説明できる。 6. 酸蝕症の原因と特徴について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>保存修復学第6版、pp. 15~20を読んでおく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 c tooth wear<歯の損耗></p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2018/04/19 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義③: う蝕 の病因・病態と処 置 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>歯の硬組織疾患のうち最も多いう蝕の処置が行えるようになるために、う蝕の病因と病態および予知について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. う蝕の分類と表記を説明できる。 2. う蝕のリスクファクターについて説明できる。 3. 再石灰化について説明できる。 4. う蝕の予知について説明できる。 5. う蝕の処置方法について説明できる。 6. う蝕予防とPMTCについて説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>保存修復学第6版、pp. 21~31を読んでおく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齶蝕の病因</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 b 齶蝕のリスクファクター</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------|---|-------|
| 2018/04/19 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義③：う蝕の病因・病態と処置 | <p>a 齲蝕の予防・管理 b 齲蝕の予防効果の評価 c 初期齲蝕の診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2018/04/26 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義④：う蝕の病因・病態と処置 | <p>【授業の一般目標】 う蝕の処置が行えるようになるために、エナメル質、象牙質およびセメント質におけるう蝕の拡がり方の違いについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. エナメル質う蝕の特徴を説明できる。 2. 象牙質う蝕の特徴を説明できる。 3. セメント質う蝕の特徴を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 21~31を読んでおく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 a 齲蝕の病因</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 b 齲蝕のリスクファクター a 齲蝕の予防・管理 b 齲蝕の予防効果の評価 c 初期齲蝕の診断</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齲蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齲蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ②細菌、真菌、ウイルス及び原虫のヒトに対する感染機構と病原性を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2018/04/27 (金) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑤：硬組織疾患の検査法 | <p>【授業の一般目標】 硬組織欠損の原因を探り適切な診断や治療計画の立案ができるようになるために、硬組織疾患の検査法と検査に必要な器具およびその手技について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 硬組織疾患の診断に必要な検査法を列挙できる。 2. 検査に必要な器具の名称と使用方法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 52~58を読んでおく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 1 口腔検査、顎口腔機能検査 ア 口腔検査 a 歯の硬組織の検査</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|---|-------|
| 2018/04/27 (金) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑤:硬組織疾患の検査法 | E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩擦等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/04/27 (金) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義⑥:硬組織の切削器具と歯髄傷害およびその対策 | 【授業の一般目標】 適切な硬組織の切削が行えるようになるために、回転切削器具や手用切削器具の種類とその特徴および歯髄傷害の予防を考慮した切削法について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 代表的な手用切削器具の種類と用途について説明できる。 2. 回転切削器具の種類と特徴について説明できる。 3. その他の硬組織切削器具の種類とその特徴について説明できる。 4. 歯質切削後のエナメル質・象牙質の損傷について説明できる。 5. 歯質切削後の歯髄の傷害について説明できる。 6. 歯髄傷害の予防対策について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 12~125を読んでおく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ウ 器械の安全な取扱法 b 治療に用いる基本的器材 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の特性と用途 ①歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) の所要性質と用途を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/05/10 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑦:修復前準備、滅菌消毒と感染予防 | 【授業の一般目標】 適切な修復操作が行えるようになるために、修復前準備の種類とその意義目的および必要な器具について理解する。 修復処置にあたり感染予防が実施できるようになるために、歯科用器具の滅菌法と消毒法の種類と使用する器具や薬物について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 修復前準備の種類とその目的について説明できる。 2. 修復前準備に用いる器具とその用途について説明できる。 3. 滅菌法の種類とその特徴について説明できる。 4. 消毒法の種類とその特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 修復処置の前準備について予習しておく。 教科書pp. 126-134 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 b 歯の硬組織疾患の治療 【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|---|-------|
| 2018/05/10 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑦:修復前準備、滅菌消毒と感染予防 | E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 C 生命科学 C-4 感染と免疫 C-4-1) 感染 ④滅菌と消毒の意義、種類及び原理を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/05/17 (木) 3時限 13:10~14:40 | 平常試験1・解説講義 | 【授業の一般目標】 修復講義①~⑦の講義内容に関する知識の深化と理解度を評価するために、MCQと筆記による試験を行い、試験終了後、出題内容について解説講義を実施する。 【準備学修項目と準備学修時間】 修復講義①~⑦の範囲の復習 準備学修時間3時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 | 平山 聡司 |
| 2018/05/17 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義⑧:窩洞の名称と分類 | 【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 窩洞の構成と各部の名称について説明できる。 2. 窩洞の種類について説明できる。 3. 窩洞の分類について説明できる。 4. Blackの窩洞分類について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 窩洞に関する教科書pp.109-120の内容を学んでおく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/05/24 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義⑨:窩洞の具備条件 | 【授業の一般目標】 適切な窩洞形成が行えるようになるために、窩洞の具備条件と窩洞外形を規定する因子について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 窩洞の具備条件を列挙できる。 2. 窩洞外形を規定する因子を列挙できる。 3. 保持形態について説明できる。 4. 抵抗形態について説明できる。 5. 便宜形態について説明できる。 6. 窩縁形態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp.109-120を読んでおく。 準備学修時間30分。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|---|--|
| 2018/05/24 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義⑨：窩洞の具備条件 | 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/05/25 (金) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義⑩：メタルインレー修復の特徴と窩洞形態 | 【授業の一般目標】 臼歯部の硬組織欠損をメタルインレーによって修復できるようになるために、メタルインレー修復の特徴と窩洞の具備条件および臨床手順について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.メタルインレー修復の特徴について説明できる。 2.メタルインレー修復の窩洞について説明できる。 3.メタルインレーの材料学的特徴について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp.192~195を読んでおく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/05/31 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習1：2倍大模型1級窩洞形成（36：OB） | 【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、タービンハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1.回転切削器械を正しく使用できる。 2.タービンハンドピースを用いて決められた形態に人工歯を切削できる。 3.1級窩洞の窩壁、線角および点角の名称を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング あり ビデオ 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-1 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具）の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 神谷直孝 岡田珠美 岩井啓寿 寺中文子 中島光 大塚一聖 井上椋介 島田裕美子 塚原弾 青野英二 熱田互 飯泉淳 飯田浩雅 壹岐宏 伊東哲明 岩井仁寿守 大村基守 金杉紀明 木村大 山庫未希 小泉直也 高鹿志保 小西美徳 齋藤千春 笹本恭子 塩秀明 杉山道紀 鈴木英明 須原秀宜 関根哲子 田川剛士 常田幸奇 富田久田 富田行秀 中川整 並木泰次 深澤正幹 藤川謙次 細野隆也 山本憲廣 松若尚 渡邊康夫 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 2018/05/31 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習2:歯の 切削の基本 2倍 大模型2級窩洞形 成(36:MOB) | <p>【授業の一般目標】 適切な窩洞形成ができるようになるために、正しい診療姿勢、タービンハンドピースの取り扱いおよび切削器具の名称や目的について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 回転切削器械を正しく使用できる。 2. タービンハンドピースを用いて決められた形態に人工歯を切削できる。 3. 2級窩洞の窩壁、線角および点角の名称を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング あり ビデオ</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾英 青野 二 熱田 亙 飯田 淳 泉田 浩雅 飯田 宏二 壹岐 哲明 伊東 仁寿 岩井 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 山庫 未希 山泉 直也 小泉 志保 高鹿 徳 西美 千春 齋藤 恭子 笹本 秀明 塩 道 山 道 鈴 英 須原 秀 関根 哲 根川 剛 田 士 常田 幸 田 幸 富田 行 久田 秀 中川 整 並木 泰 深澤 正 藤川 幹 細野 謙 山本 隆 若松 也 渡邊 廣 康夫 尚 康夫 吾 康夫 夫 |
| 2018/06/07 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習3:メタル インレー2級窩 洞形成(46:MO) | <p>【授業の一般目標】 口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 2級メタルインレー窩洞の窩壁の名称について説明できる。 2. 2級メタルインレー窩洞の具備条件について説明できる。 3. 直視による正しいチェアポジションが取れる。 4. 窩洞形成に必要な回転切削器具が適切に使用できる。 5. 直視によるメタルインレー2級窩洞の形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)と学修ビデオを予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 学修ビデオ</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 F シミュレーション実習(模型実習・相互演習(実習)) F-3 基本的臨床技能 F-3-3 歯と歯周組織の疾患の治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患の簡単な処置(コンポジットレジン修復、グラスアイオノマーセメント修復、メタルインレー修復、補修修復)を実施できる。 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾英 青野 二 熱田 亙 飯田 淳 泉田 浩雅 飯田 宏二 壹岐 哲明 伊東 仁寿 岩井 基守 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 山庫 未希 山泉 直也 小泉 志保 高鹿 徳 西美 千春 齋藤 恭子 笹本 秀明 塩 道 山 道 鈴 英 須原 秀 関根 哲 根川 剛 田 士 常田 幸 田 幸 富田 行 久田 秀 中川 整 並木 泰 深澤 正 藤川 幹 細野 謙 山本 隆 若松 也 渡邊 廣 康夫 尚 康夫 夫 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|---|
| 2018/06/07 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習3:メタルインレー2級窩洞形成(46:M O) | D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 | 平山 聡司 神岡 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 聖介 上田 椋美 島田 裕子 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 壹岐 浩雅 伊東 宏二 岩井 哲明 大村 仁寿 大金 基守 杉村 紀明 木村 大 山本 希也 泉直 志保 小高 徳美 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲士 田川 剛士 常田 幸斎 富久 幸梢 田中 行秀 川木 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2018/06/07 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習4:メタルインレー2級窩洞形成(46:M O) | 【授業の一般目標】 口腔内で直視による2級メタルインレー修復窩洞の形成ができるようになるために、窩洞形成に必要な器材の使用法と形成手順、回転切削器具の取り扱いについて理解する。 【行動目標(SBOs)】 1.直視による正しいチェアポジションが取れる。 2.直視により2級メタルインレー窩洞形成ができる。 3.窩洞形成に必要な回転切削器具が適切に使用できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)と学修ビデオを予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング 有 学修ビデオ 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ③診療用器械・器具の構造と特性を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 神岡 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 聖介 上田 椋美 島田 裕子 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 壹岐 浩雅 伊東 宏二 岩井 哲明 大村 仁寿 大金 基守 杉村 紀明 木村 大 山本 希也 泉直 志保 小高 徳美 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲士 田川 剛士 常田 幸斎 富久 幸梢 田中 行秀 川木 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2018/06/14 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑩:メタルインレー製作法 | 【授業の一般目標】 臼歯部の硬組織欠損をメタルインレーによって修復できるようになるために、メタルインレー修復の術式とその作製法について理解する。 | 岡田 珠美 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------|--|--|
| 2018/06/14 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑩:メタルインレー製作法 | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> メタルインレー修復の術式について説明できる。 メタルインレーの製作法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版pp.196~198を読んでおく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。</p> | 岡田 珠美 |
| 2018/06/14 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義⑪:連合印象法、仮封材 | <p>【授業の一般目標】 メタルインレー体を作製できるようになるために、窩洞形成歯の印象採得に必要な印象材の種類とその特徴および連合印象法について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 印象材の種類と特徴を説明できる。 連合印象法の特徴について説明できる。 連合印象法の手順について説明できる。 仮封の目的について説明できる。 仮封材の所要性質と種類および使用方法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版pp.196-198を予習しておく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 3 印象用材料 ウ 機能印象材</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p> | 岡田 珠美 |
| 2018/06/21 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習5:シリコン連合印象採得 | <p>【授業の一般目標】 メタルインレー体作製のための作業模型が製作できるようになるために、シリコン連合印象材の特徴と採得手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 印象材の適切な取り扱いができる。 シリコン連合印象によるメタルインレー窩洞の印象採得ができる。 アルジネート印象材により対合歯の印象採得ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|--|---|
| 2018/06/21 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習5:シリコーン連合印象採得 | <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 セ 歯科材料・機器 c 印象用材料</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p> | 伊東哲明 岩井仁基 村大守 大金杉紀 木村大 庫山未 山泉直 小泉也 高鹿志 小西美 齋藤千 笹本春 塩本恭 秀明 杉山道 鈴木英 須原秀 関根宜 田哲 常田士 富田幸 田幸 中川梢 並木行 深澤整 藤川泰 川謙 細野次 山本隆 若松憲 渡邊尚 夫 |
| 2018/06/21 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習6:咬合採得、作業模型の作製 | <p>【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー体の作製ができるようになるために、機能的な作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 作業模型を作製できる。 2. メタルインレー修復の咬合採得ができる。 3. メタルインレー修復窩洞に対する仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p> | 平山聡 神谷直 岡珠 田美 岩井啓 寺中壽 中島文 大塚光 井上聖 島田一 塚原椋 青野英 熱田二 飯田互 飯田淳 飯田浩 壹岐宏 伊東哲 岩井仁 村大守 大金杉 木村大 庫山未 山泉直 小泉也 高鹿志 小西美 齋藤千 笹本春 塩本恭 秀明 杉山道 鈴木英 須原秀 関根宜 田哲 常田士 富田幸 田幸 中川梢 並木行 深澤整 藤川泰 川謙 細野次 山本隆 若松憲 渡邊尚 夫 |
| 2018/06/28 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習7:作業模型の作製 | <p>【授業の一般目標】 適合性の良いメタルインレー体のワックスアップが行えるようになるために、機能的な作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 作業模型を作製できる。 2. 作業模型の咬合器付着ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患</p> | 平山聡 神谷直 岡珠 田美 岩井啓 寺中壽 中島文 大塚光 井上聖 島田一 塚原椋 青野英 熱田二 飯田互 飯田淳 飯田浩 壹岐宏 伊東哲 岩井仁 村大守 大金杉 木村大 庫山未 山泉直 小泉也 高鹿志 小西美 齋藤千 笹本春 塩本恭 秀明 杉山道 鈴木英 須原秀 関根宜 田哲 常田士 富田幸 田幸 中川梢 並木行 深澤整 藤川泰 川謙 細野次 山本隆 若松憲 渡邊尚 夫 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|---|---|
| 2018/06/28 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習7:作業 模型の作製 | ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 | 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英宜 須原 秀子 関根 哲幸 田川 剛士 常川 幸齋 富田 幸梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 澤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 吾夫 |
| 2018/06/28 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習8:ワックスアップ | 【授業の一般目標】 機能的で適合性の良いメタルインレー体を作製するために、メタルインレー体のワックスアップについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インレーワックスの取り扱いができる。 2. 2級メタルインレーのワックス形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 インレーワックスの特徴について説明できる。 教科書pp.194-200 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防充填用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 大島 光一 大塚 聖 大井 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熱田 瓦 飯田 淳 飯田 浩雅 岐東 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 守明 金杉 紀明 木村 大 山泉 希 小泉 直也 高志 美保 小西 志徳 齋藤 美春 藤本 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英宜 須原 秀子 関根 哲幸 田川 剛士 常川 幸齋 富田 幸梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 澤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 吾夫 |
| 2018/07/05 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑬:インレーワックス、埋没法 | 【授業の一般目標】 窩洞に適合するメタルインレー体を作製できるようになるために、インレーワックスと埋没材の材料学的特徴および鑄造欠陥について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インレーワックスの種類と特徴を説明できる。 2. 埋没材の種類と所要性質を説明できる。 3. 鑄造欠陥の種類とその原因について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版pp.200~203を予習しておく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 7 成形技術・機器 ウ 金属の成形技術・機器 b 石膏系埋没材、リン酸塩系埋没材 | 神谷 直孝 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------|---|--|
| 2018/07/05 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑬:インレーワックス、埋没法 | c 鑄造精度、鑄造欠陥 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 | 神谷 直孝 |
| 2018/07/05 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復講義⑭:鑄造法、鑄造欠陥 | 【授業の一般目標】 窩洞に適合するメタルインレー体が作製できるようになるために、メタルインレー体の鑄造収縮補償と鑄造欠陥について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. メタルインレーの鑄造法と鑄造収縮補償を説明できる。 2. 鑄造欠陥の種類を列挙できる。 3. 鑄造欠陥の原因とその対策について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版pp.204~208を予習しておく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 7 成形技術・機器 ウ 金属の成形技術・機器 a 鑄造工程 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 7 成形技術・機器 ウ 金属の成形技術・機器 c 鑄造精度、鑄造欠陥 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 | 神谷 直孝 |
| 2018/07/12 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習9:ワックスアップ、埋没法 | 【授業の一般目標】 機能的で適合性の良いメタルインレー体を作製するために、メタルインレー体のワックスアップと埋没法操作について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. インレーワックスの取り扱いができる。 2. 2級メタルインレーのワックス形成ができる。 3. 石膏系埋没法材の特徴について説明できる。 4. 埋没法操作手順を説明できる。 5. キャスティングライナーの使用目的について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 インレーワックスの特徴について説明できる。 教科書pp.194-200 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 第4実習室、スライド、ビデオ 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 7 成形技術・機器 ウ 金属の成形技術・機器 b 石膏系埋没法材、リン酸塩系埋没法材 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熟田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 美春 藤本 千春 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富田 幸 富田 行秀 富田 整 中川 泰次 並木 深澤 藤川 正幹 細野 謙次 山本 隆也 若松 憲 渡邊 尚 渡邊 吾夫 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|--|
| 2018/07/12 (木) 4時限 14:50～16:20 | 修復実習10:メ タルインレーの装 着 | <p>【授業の一般目標】 メタルインレー体を窩洞に適切に装着するために、メタルインレー体装着手順と合着用グラスアイオノマーセメントの取り扱いについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 2級メタルインレー修復物装着のための窩洞への試適・調整手順について説明できる。 2. 2級メタルインレー修復物の窩洞への試適・研磨ができる。 3. 合着用グラスアイオノマーセメントの練和ができる。 4. 合着用グラスアイオノマーセメントを用いてメタルインレー修復物の装着ができる。 5. メタルインレー修復後の予後について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 インレー修復物装着について説明できる。 教科書pp.209-210、241-243 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 第4実習室、スライド、ビデオ</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 9 装着用材料 ア 合着・接着用セメント b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3- (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む)を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3- (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾英二 青野 瓦 熱田 淳 飯田 浩雅 泉田 浩二 岐宏 哲明 伊東 仁寿 岩井 基守 大村 紀明 金杉 紀明 村大 未希 山泉 直也 庫小 志保 高鹿 美徳 小西 千春 齋藤 恭子 笹本 秀明 塩山 道紀 杉山 英明 須原 秀宜 根川 哲剛 関田 剛士 常田 幸齋 富田 幸齋 富田 行秀 中川 整 並木 泰正 深澤 謙次 藤川 隆 細野 憲 山本 廣 若松 尚 渡邊 吾夫 康 |
| 2018/07/19 (木) 3時限 13:10～14:40 | 実習口答試問1 | <p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲：修復実習1～10の実習内容</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 2. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 3. 実習で学んだ間接修復法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 修復実習1～10の範囲について復習しておく。 準備学修時間3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 イ 切削・研削工具、研磨材 3 印象用材料 ウ 機能印象材</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾英二 青野 瓦 熱田 淳 飯田 浩雅 泉田 浩二 岐宏 哲明 伊東 仁寿 岩井 基守 大村 紀明 金杉 紀明 村大 未希 山泉 直也 庫小 志保 高鹿 美徳 小西 千春 齋藤 恭子 笹本 秀明 塩山 道紀 杉山 英明 須原 秀宜 根川 哲剛 関田 剛士 常田 幸齋 富田 幸齋 富田 行秀 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|---|
| 2018/07/19 (木) 3時限 13:10~14:40 | 実習口答試験 1 | 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 | 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 吾夫 |
| 2018/07/19 (木) 4時限 14:50~16:20 | 実習口答試験 1 | 【授業の一般目標】 口頭試験の範囲：修復実習1~10の実習内容1 【行動目標 (SBOs)】 1. 実習で学んで修復術式について説明できる。 2. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 修復実習1~10の範囲について復習しておく。 準備学修時間3時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 イ 切削・研削工具、研磨材 4 模型用材料、ワックス イ 歯科用ワックス a インレーワックス 3 印象用材料 ウ 機能印象材 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 島塚 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 野田 互 飯田 淳 飯田 浩 豊岐 宏 伊東 哲 岩井 仁 大村 基 金村 守 杉村 明 木村 紀 山本 希 庫山 直 小泉 志 高鹿 保 小西 徳 齋藤 美 笹本 千 塩本 春 秀明 恭子 杉山 道 英鈴 紀 須原 英 関根 秀 根川 宜 常田 哲 富田 剛 富田 幸 中川 行 並木 秀 深澤 整 藤川 泰次 細野 正幹 山本 謙次 若松 隆也 渡邊 憲廣 吾夫 康夫 |
| 2018/08/30 (木) 3時限 13:10~14:40 | 平常試験 2・解説 講義 | 【授業の一般目標】 修復講義⑧~⑭の範囲についてMCQと筆記による試験を行う。 【準備学修項目と準備学修時間】 修復講義⑧~⑭の範囲の復習 準備学修時間3時間 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 | 平山 聡司 神谷 直孝 |
| 2018/08/30 (木) 4時限 14:50~16:20 | 実習実技試験 1 (下顎大白歯 2 級 メタルインレー窩 洞形成) | 【授業の一般目標】 メタルインレー修復窩洞に必要な窩洞の具備条件を理解し、模型上で 2 級メタルインレー窩洞の形成ができる。 【行動目標 (SBOs)】 1. 2 級メタルインレー窩洞の形成ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大白歯 2 級メタルインレー窩洞の特徴と具備条件 窩洞形成に用いる切削器具の選択 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 島塚 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 野田 互 飯田 淳 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|--|---|
| 2018/08/30 (木) 4時限 14:50~16:20 | 実習実技試験1 (下顎大白歯2級 メタルインレー窩 洞形成) | アクティブラーニング なし 第4実習室 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 第4実習室 | 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 守 大金 基 杉村 紀 木村 明 山本 大 庫未 希也 小泉 直也 高直 志保 鹿志 美徳 小西 春 齋藤 千 笹本 恭 塩本 秀 山道 紀 杉山 明 鈴木 英 須原 秀 関根 哲 田川 士 田幸 奇 富田 幸 富田 梢 中川 行 並木 秀 深澤 泰 澤川 次 細野 正 山本 謙 本野 隆 松本 憲 若松 廣 渡邊 尚 夫 |
| 2018/09/20 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義⑮:コン ポジットレジン修 復と接着歯学 | 【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン の歯質接着性システムと術式について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. 接着性修復の意義と歴史について説明できる。 2. 接着性修復の種類と特徴について説明できる。 3. コンポジットレジンの材料的特徴について説明できる。 4. コンポジットレジンの接着メカニズムについて説明できる。 5. セルフエッチングプライマーとボンディング材の組成について説明できる。 6. 2ステップボンディングシステムによる接着について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp.139~143を予習しておく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン 8 接着処理・技術 ア 接着性モノマー a エナメル質被着面処理 b 象牙質被着面処理 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説 明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/09/20 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義⑯:コン ポジットレジン修 復窩洞の特徴 | 【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復窩洞が形成できるようになるために、窩洞の特 徴について理解する。 【行動目標(SBOs)】 1. コンポジットレジン修復窩洞の窩洞外形の設定について説明できる。 2. コンポジットレジン修復窩洞の保持形態について説明できる。 3. コンポジットレジン修復窩洞の抵抗形態について説明できる。 4. コンポジットレジン修復窩洞の便宜形態について説明できる。 5. コンポジットレジン修復窩洞の窩縁形態について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------------|--|-------|
| 2018/09/20 (木) 3時限 13:10～14:40 | 修復講義⑩：コン ポジットレジン修 復窩洞の特徴 | 保存修復学第6版、pp. 156-157を予習しておく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明で きる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/09/20 (木) 4時限 14:50～16:20 | 修復講義⑪：コン ポジットレジン修 復の術式と使用機 材 | 【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジン 修復窩洞の充填・研磨に用いる器具・機材について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. コンポジットレジンの圧接子と隔壁について説明できる。 2. コンポジットレジン修復に用いるその他の器材について説明できる。 3. 光照射器の種類と特徴および取り扱いについて説明できる。 4. コンポジットレジンの研磨について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 157～166を予習しておく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 a 歯の硬組織疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩擦等）、生活 歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石 灰化療法を含む）を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/09/27 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑫：う窩 の処置 | 【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、除去すべきう 蝕象牙質の識別と除去に使用する器具および歯髄保護について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質の再石灰化療法について説明できる。 2. MIに基づいたう蝕象牙質の除去について説明できる。 3. う窩処置に用いる器材について説明できる。 4. う蝕象牙質第一層と第二層について説明できる。 5. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分けについて説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 68～75、173～174の範囲を予習しておく。 準備学修時間30分 | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|--|
| 2018/09/27 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑧：う窩の処置 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2018/09/27 (木) 3時限 13:10～14:40 | 修復実習11：診療姿勢、修復前準備・ラバーダム防湿 | <p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が実施ができるようになるために、正しい診療ポジションとラバーダム防湿法について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 正しいチェアポジションで処置が行える。 2. ラバーダム防湿が実施できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習する。 準備学修時間30分 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング あり 学修ビデオ</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p> | <p>平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 大金 紀明 杉村 大 木村 希也 山泉 直也 小泉 志保 高鹿 美徳 西齋 千春 藤本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 吾夫</p> |
| 2018/09/27 (木) 4時限 14:50～16:20 | 修復実習12：1級コンポジットレジン修復（36：0） | <p>【授業の一般目標】 1級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、1級コンポジットレジン修復の手順（前準備、う蝕除去、接着操作およびレジン充填）について理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. MIに基づいた1級コンポジットレジン修復窩洞が形成できる。 2. ラバーダム防湿法が実施できる。 3. 適切な接着操作ができる。 4. 1級コンポジットレジン充填ができる。 5. 1級コンポジットレジン充填の形態修正が行える。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> | <p>平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 大金 紀明 杉村 大 木村 希也 山泉 直也 小泉 志保 高鹿 美徳 西齋 千春</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|--|--|
| 2018/09/27 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習12:1 級コンポジットレジン修復(36:0) | <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法(再石灰化療法を含む)を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p> | 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英宜 須原 秀明 関根 哲子 田川 剛士 常富 幸一 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2018/10/11 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義⑩:コンポジットレジン修復の臨床的問題点とその対策 | <p>【授業の一般目標】 適切なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、コンポジットレジンの重合収縮応力の発生とその対処法について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. コンポジットレジン修復の収縮応力について説明できる。 2. コントラクションギャップについて説明できる。 3. ホワイトマージンについて説明できる。 4. 重合収縮応力の緩和方法について説明できる。 5. コンポジットレジン修復後の不快症状への対処法について説明できる。 6. コンポジットレジン修復の予後について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 153~155を予習しておく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 a コンポジットレジン</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2018/10/11 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習13:3 級コンポジットレジン修復(21:MB) | <p>【授業の一般目標】 3級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. プレウエッジができる。 2. 唇面からの感染象牙質除去ができる。 3. 隔壁の設置ができる。 4. 適切な歯面処理ができる。 5. 3級コンポジットレジンの充填と形態付与ができる。 6. 形態修正と仕上げ研磨ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光一 大塚 聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熟田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 伊東 壹岐 岩井 哲明 大村 仁寿 金杉 基守 木村 紀明 庫山 大 小泉 未希 高鹿 直也 志保 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|---|
| 2018/10/11 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習 1 3 : 3 級コンポジットレジン修復 (2 1 : MB) | 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 小西 美徳 藤 千春 本 恭子 塩 秀明 山 道紀 鈴 英明 木 宜子 須 秀哲 原 哲子 関 剛士 川 幸 常 久 富 田 行 富 田 秀 中 川 整 並 次 木 正 深 幹 澤 謙 川 次 細 隆 野 憲 山 廣 本 尚 若 吾 松 渡 康夫 |
| 2018/10/11 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習 1 4 : 3 級コンポジットレジン修復 (1 1 : MP) | 【授業の一般目標】 3級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. プレウエッジができる。 2. ミラーテクニックで舌面から感染象牙質除去ができる。 3. 隔壁の設置ができる。 4. 適切な歯面処理ができる。 5. 3級コンポジットレジンの充填と形態付与ができる。 6. 形態修正と仕上げ研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 井中 文子 中島 光 大塚 一 井上 聖 島田 椋介 塚原 裕美子 青野 弾 野 英二 野 互 飯田 淳 泉 浩 飯田 雅 壹岐 宏 岐 二 伊東 明 岩井 仁 井 寿 大村 基 大 守 金村 明 杉 大 村 紀 庫山 未 山 直 小泉 志 高 保 鹿 徳 小 美 西 千 齶 春 本 恭 塩 秀 山 道 鈴 英 木 明 須 宜 原 哲 関 剛 川 士 常 幸 富 久 田 行 富 田 秀 中 川 整 並 次 木 正 深 幹 澤 謙 川 次 細 隆 野 憲 山 廣 本 尚 若 吾 松 渡 康夫 |
| 2018/10/18 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復実習 1 5 : 4 級コンポジットレジン修復 (1 1 : BDPI) | 【授業の一般目標】 4級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、接着操作、隔壁の設置、レジン充填および研磨について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 適切な4級窩洞の形成ができる。 2. 隔壁の設置ができる。 3. 適切な歯面処置ができる。 4. コンポジットレジンの充填ができる。 5. 形態修正ができる。 6. 仕上げ研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 井中 文子 中島 光 大塚 一 井上 聖 島田 椋介 塚原 裕美子 青野 弾 野 英二 野 互 飯田 淳 泉 浩 飯田 雅 壹岐 宏 岐 二 伊東 明 岩井 仁 井 寿 大村 基 大 守 金村 明 杉 大 村 紀 庫山 未 山 直 小泉 志 高 保 鹿 徳 小 美 西 千 齶 春 本 恭 塩 秀 山 道 鈴 英 木 明 須 宜 原 哲 関 剛 川 士 常 幸 富 久 田 行 富 田 秀 中 川 整 並 次 木 正 深 幹 澤 謙 川 次 細 隆 野 憲 山 廣 本 尚 若 吾 松 渡 康夫 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2018/10/18 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復実習 15 : 4 級コンポジットレジン修復 (11 : BDP I) | <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療</p> <p>E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p> <p>③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p> <p>④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p> <p>⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。</p> | 田川 剛士 常田 幸 久富 行秀 田川 整 富田 泰次 並木 正幹 深澤 正次 川 隆也 細野 憲 山本 廣 松本 尚 渡邊 吾夫 |
| 2018/10/18 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習 16 : 2 級コンポジットレジン修復 (25 : OD) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> レバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 MI に基づいた 2 級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。 プレウエッジができる。 適切な接着操作ができる。 トッフルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁を設置できる。 コンタクトマトリックスを用いて隔壁が設置できる。 積層充填による 2 級コンポジットレジン充填ができる。 2 級コンポジットレジン充填の携帯修正と仕上げ研磨が行える。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 学修ビデオ</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論 II 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p> <p>1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療</p> <p>E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療</p> <p>①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。</p> <p>②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。</p> <p>③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p> <p>④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p> | 平山 聡司 山谷 直孝 神岡 珠美 田井 啓寿 岩井 文子 寺中 光 中島 一聖 大塚 椋介 井上 裕美子 島田 弾 塚原 英二 青野 淳 野田 浩 熱田 雅 飯田 宏 飯田 伊東 岐東 哲二 岩井 仁寿 井大 基 村金 守 杉村 紀 木村 明 大 未 庫山 希 小泉 直 高鹿 志 小西 保 齋藤 徳 藤本 美 笹本 千 塩本 恭 秀 子 山 道 杉 英 鈴 明 木 秀 原 宜 根 子 関 哲 田 剛 常 士 富 幸 久 齊 田 尚 富 行 中 秀 川 整 |
| 2018/10/18 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習 17 : 2 級コンポジットレジン修復 (36 : MO) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>2級コンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なる蝕除去、隔壁の設置、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> レバーダム防湿 (連続防湿) ができる。 MI に基づいた 2 級コンポジットレジン修復窩洞の形成ができる。 プレウエッジができる。 適切な接着操作ができる。 トッフルマイヤー型リテーナーを用いて隔壁を設置できる。 コンタクトマトリックスを用いて隔壁が設置できる。 積層充填による 2 級コンポジットレジン充填ができる。 2 級コンポジットレジン充填の携帯修正と仕上げ研磨が行える。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング 有 学修ビデオ</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論 II 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p> <p>1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】</p> | 平山 聡司 山谷 直孝 神岡 珠美 田井 啓寿 岩井 文子 寺中 光 中島 一聖 大塚 椋介 井上 裕美子 島田 弾 塚原 英二 青野 淳 野田 浩 熱田 雅 飯田 宏 飯田 伊東 岐東 哲二 岩井 仁寿 井大 基 村金 守 杉村 紀 木村 明 大 未 庫山 希 小泉 直 高鹿 志 小西 保 齋藤 徳 藤本 美 笹本 千 塩本 恭 秀 子 山 道 杉 英 鈴 明 木 秀 原 宜 根 子 関 哲 田 剛 常 士 富 幸 久 齊 田 尚 富 行 中 秀 川 整 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------------------|---|---|
| 2018/10/18 (木) 4時限 14:50～16:20 | 修復実習17:2級 コンポジットレジン修復(36:MO) | E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩擦等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 | 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 山本 尚夫 若松 吾夫 渡邊 康夫 |
| 2018/10/25 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑩: グラスアイオノマーセメント修復 | 【授業の一般目標】 歯の硬組織欠損を適切に修復するために、グラスアイオノマーセメントの適応症、特徴、術式について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. グラスアイオノマーセメント修復の適応症について説明できる。 2. グラスアイオノマーセメント修復の特徴について説明できる。 3. 従来型グラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 4. レジン添加型グラスアイオノマーセメントの材料の特徴について説明できる。 5. グラスアイオノマーセメント修復の術式について説明できる。 6. 根面う蝕の処置方針について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 167～174を予習しておく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ア 成形修復用材料 b グラスアイオノマーセメント、レジン添加型グラスアイオノマーセメント 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ①成形修復・予防填塞用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/10/25 (木) 3時限 13:10～14:40 | 修復実習18:5級 およびクサビ状欠損へのコンポジットレジン修復 | 【授業の一般目標】 5級およびクサビ状欠損に対するコンポジットレジン修復が行えるようになるために、適切なう蝕除去、接着操作とレジン充填および研磨について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. 5級コンポジットレジン修復窩洞が形成できる。 2. クサビ状欠損に対する窩洞形成ができる。 3. 簡易防湿ができる。 4. 歯面処理ができる。 5. コンポジットレジン充填ができる。 6. サービカルマトリックスによる圧接・形態付与ができる。 7. 形態修正ができる。 8. 仕上げ研磨ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 野田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲明 岩井 仁寿 大村 基守 金村 紀明 杉木 大 庫山 未希 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 千春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 山本 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久 久 梢 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---|
| 2018/10/25 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習18:5級およびクサビ状欠損へのコンポジットレジン修復 | <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p> | 富田 行秀 中川 直孝 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫 |
| 2018/10/25 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習19:クサビ状欠損に対するグラスアイオノマーセメント修復 | <p>【授業の一般目標】 クサビ状欠損に対してグラスアイオノマーセメント修復が行えるようになるために、適切な歯面処理とセメント充填および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. クサビ状欠損部に対する適切な切削ができる。 2. 簡易防湿ができる。 3. 従来型グラスアイオノマーセメント充填ができる。 4. 形態付与ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。</p> | 平山 聡司 山谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 野田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 哲仁 岩井 明寿 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 山本 希也 小泉 直志 高鹿 保徳 小西 美千 齋藤 春子 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 山本 英明 須原 秀宜 関根 哲子 田川 剛士 常田 幸 富久 田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚夫 渡邊 康夫 |
| 2018/11/01 (木) 2時限 10:40~12:10 | 平常試験3・解説講義 | <p>【授業の一般目標】 修復講義⑮~⑳の範囲についてMCQと筆記による試験を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 修復講義⑮~⑳の範囲に対する復習 準備学修時間3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> | 平山 聡司 |
| 2018/11/01 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復講義㉑:歯の亀裂・破折とその対応 | <p>【授業の一般目標】 歯の破折による硬組織欠損の処置が行えるようになるために、歯冠破折の分類と原因および診断に必要な検査法と処置方針について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 歯冠破折の種類、原因について説明できる。 2. 歯冠破折の検査法について説明できる。 3. 歯の破折に対するコンポジットレジン修復による対応について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 エナメル質、象牙質の正常機能と構造について復習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> | 岡田 珠美 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|--|-------|
| 2018/11/01 (木) 3時限 13:10～14:40 | 修復講義④：歯の亀裂・破折とその対応 | <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 f 歯の亀裂・破折</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。</p> | 岡田 珠美 |
| 2018/11/01 (木) 4時限 14:50～16:20 | 修復講義④：ベニア修復 | <p>【授業の一般目標】 前歯部の審美修復が行えるようになるために、ラミネートベニア修復とコンボジットレジンダイレクトベニア修復の特徴と臨床手順について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ラミネートベニア修復の特徴について説明できる。 2. ラミネートベニア修復の手順について説明できる。 3. コンボジットレジンダイレクトベニア修復の特徴について説明できる。 4. コンボジットレジンダイレクトベニア修復の手順について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 228～236を予習しておく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。</p> | 岡田 珠美 |
| 2018/11/08 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義④：セラミック (コンボジットレジン) インレー修復 | <p>【授業の一般目標】 臼歯部欠損修復のうち審美的間接修復が行えるようになるために、セラミックインレーとコンボジットレジンインレー修復の特徴と術式および窩洞の具備条件と象牙質コーティングについて理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. セラミックインレー修復とコンボジットレジンインレー修復の特徴と適応症について説明できる。 2. セラミック (コンボジットレジン) インレー修復の術式について説明できる。 3. セラミック (コンボジットレジン) インレー窩洞の特徴について説明できる。 4. レジンコーティング法の目的について説明できる。 5. レジンコーティング法の術式について説明できる。 6. レジンコーティング後の印象採得の注意点について説明できる。 7. レジンコーティング後の適切な仮封材について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 210～221の範囲を予習しておく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 2018/11/08 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義④：セラミック（コンポジットレジン）インレー修復 | E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/11/08 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習20：コンポジットレジンインレー2級窩洞形成(36:MO)・レジンコーティング | 【授業の一般目標】 白歯部硬組織欠損をコンポジットレジンインレーで修復するために、適切な窩洞形成と象牙質に対するレジンコーティングについて理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1.2 級コンポジットレジンインレー窩洞の形成ができる。 2. プレウエッジが行える。 3. レジンコーティング法ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 d 窩洞形成法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 | 平山 聡司 山谷 直孝 神岡 珠美 岡田 啓寿 岩井 文子 寺中 光 中島 一聖 大塚 椋介 井上 裕美子 島田 弾 塚原 英二 青野 互 熱田 淳 飯田 浩雅 飯田 宏二 壹岐 哲明 伊東 仁寿 岩井 大村 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 村山 希 庫直 直也 小泉 志保 高鹿 徳美 西藤 千春 齋藤 恭子 藤本 秀明 笹本 道紀 塩山 英明 山道 宜子 鈴木 剛士 須原 幸 関田 幸 根田 幸 田常 幸 富田 行秀 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 木澤 正幹 深澤 謙次 藤川 隆也 細野 憲 野山 尚 山本 康夫 |
| 2018/11/08 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習21：コンポジットレジンインレー修復一印象採得・咬合採得・仮封 | 【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体を作製するために、コンポジットレジンインレー窩洞の連合印象と咬合採得および仮封について理解する。 【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレー窩洞のシリコン連合印象採得ができる。 2. 咬合採得ができる。 3. 水硬性セメントを用いた仮封ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 | 平山 聡司 山谷 直孝 神岡 珠美 岡田 啓寿 岩井 文子 寺中 光 中島 一聖 大塚 椋介 井上 裕美子 島田 弾 塚原 英二 青野 互 熱田 淳 飯田 浩雅 飯田 宏二 壹岐 哲明 伊東 仁寿 岩井 大村 大村 基守 金杉 紀明 木村 大 村山 希 庫直 直也 小泉 志保 高鹿 徳美 西藤 千春 齋藤 恭子 藤本 秀明 笹本 道紀 塩山 英明 山道 宜子 鈴木 剛士 須原 幸 関田 幸 根田 幸 田常 幸 富田 行秀 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 木澤 正幹 深澤 謙次 藤川 隆也 細野 憲 野山 尚 山本 康夫 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---|---|--|
| 2018/11/08 (木) 4時限 14:50～16:20 | 修復実習 2 1 : コンポジットレジンインレー修復 – 印象採得・咬合採得・仮封 – | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体を作製するために、コンポジットレジンインレー窩洞の連合印象と咬合採得および仮封について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレー窩洞のシリコン連合印象採得ができる。 2. 咬合採得ができる。 3. 水硬性セメントを用いた仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩擦等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。</p> | 若松 尚吾 渡邊 康夫 |
| 2018/11/15 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑤: コンポジットレジンインレー修復とセラミックインレー修復の作製法 | <p>【授業の一般目標】 審美的間接修復法を用いた修復が行えるようになるために、その作製方法とその特徴について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジンインレーの作製手順について説明できる。 2. セラミックインレー窩洞の特徴について説明できる。 3. セラミックインレー修復の作製法の種類とその特徴について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 216～228の範囲を予習しておく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 D 歯科医療機器 (歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2018/11/15 (木) 3時限 13:10～14:40 | 修復実習 2 2 : コンポジットレジンインレー修復 – 作業模型作製 – | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー修復が行えるようになるために、作業模型の作製について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 作業模型の作製ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熱田 亙 飯泉 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------|--|---|
| 2018/11/15 (木) 3時限 13:10~14:40 | 修復実習22:コンポジットレジンインレー修復作業模型作製 | <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法(再石灰化療法を含む)を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p> | 伊東 哲明 岩井 仁基 村大 守 金杉 紀明 木村 大 庫山 未希 山泉 直也 小泉 志保 高鹿 美徳 小西 千春 齋藤 春 笹本 恭子 塩 秀明 杉山 道紀 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲士 根川 剛子 田川 幸 常田 幸 富田 行秀 久田 稍 中川 整 並木 泰次 木深 正幹 澤川 謙次 藤川 隆也 細野 憲廣 山本 廣 若松 尚 渡邊 吾夫 |
| 2018/11/15 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習23:コンポジットレジンインレー体の作製 | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー窩洞に適合するインレー体を作製するために、材料の特性、コンポジットレジンインレー体の作製手順と解剖学的形態の付与および研磨について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. コンポジットレジンインレー体の作製手順について説明できる。 2. 解剖学的形態を付与したコンポジットレジンインレー体が作製できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル(ページは1週前に指示する)を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患(tooth wear(酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む)の症状、検査法、診断及び処置法(再石灰化療法を含む)を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p> | 平山 聡司 山谷 直孝 神谷 美 岡田 珠 岩井 啓 井中 寿 寺中 文 中島 光 大塚 一 大井 聖 島田 棕 塚原 介 青野 美 熱田 子 飯田 英 泉田 二 飯田 淳 飯田 雅 豊岐 宏 伊東 明 岩井 仁 村大 守 金杉 紀 木村 明 庫山 大 山泉 未 小泉 直 高鹿 志 小西 美 齋藤 徳 笹本 千 塩 春 杉山 秀 鈴木 明 須原 宜 関根 哲 根川 士 田川 剛 常田 子 富田 幸 久田 行 中川 秀 並木 整 木深 泰 澤川 次 藤川 幹 細野 謙 山本 隆 若松 憲 渡邊 廣 吾夫 |
| 2018/11/22 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義②:接着性レジンセメントと補修修復 | <p>【授業の一般目標】 間接修復法による修復物の接着と補修が行えるようになるために、レジンセメントの種類と特徴および異種材料に対する非着面の処理方法と手順について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科用接着用セメントの種類について説明できる。 2. レジンセメントの種類と組成について説明できる。 3. 無機接着用セメントの組成について説明できる。 4. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 5. 補修修復の適応症について説明できる。 6. 補修修復の術式と器材について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 181~191、243~244の範囲を予習しておく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|--|--|
| 2018/11/22 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義②：接着性レジンセメントと補修修復 | 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 f 補修修復 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 ウ 歯科材料接着処理 a セラミックス被着面処理 b 金属被着面処理 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/11/22 (木) 3時限 13:10～14:40 | 修復実習24：コンポジットレジンインレー体の装着 | 【授業の一般目標】 コンポジットレジンインレー体の適切な装着操作が行えるようになるために、レジンセメントの操作方法、操作手順、被着面処理および仕上げ研磨について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. レジンインレーの試適・調整について説明できる。 2. レジンセメントによるレジンインレー体の接着操作について説明できる。 3. レジンセメントによるレジンインレー体の接着ができる。 4. レジンインレー体装着後の咬合調整と仕上げ研磨ができる。 5. 異種材料に対する非着面処理ができる。 6. コンポジットレジンインレーに対する補修修復ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ③接着・合着・仮着用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 壹岐 哲明 伊東 仁寿 岩井 基守 大金 紀明 杉村 大 木村 未希 山本 直也 小泉 志保 高鹿 美徳 小西 美春 齋藤 千恭 笹本 恭子 塩 秀明 山道 紀 杉山 道 鈴木 英 須原 秀 関根 哲 田川 哲 常川 剛 富田 幸 富久 田 富田 行 中川 秀 並木 泰 深澤 次 藤川 正 細野 謙 野山 隆 山本 也 若松 憲 渡邊 尚 渡 吾 夫 康 |
| 2018/11/22 (木) 4時限 14:50～16:20 | 修復実習25：補修修復 | 【授業の一般目標】 欠損が生じた修復物の補修ができるようになるために、補修修復に用いる処理材と器材および処置手順について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 異種材料に対する接着前処理を行うことができる。 2. コンポジットレジンインレーの補修修復ができる。 3. メタルインレー体に対する補修修復ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル（ページは1週前に指示する）を予習する。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯泉 淳 飯田 浩雅 壹岐 哲明 伊東 仁寿 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------------|---|--|
| 2018/11/22 (木) 4時限 14:50~16:20 | 修復実習25:補 修修復 | <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 f 補修修復</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 8 接着処理・技術 ウ 歯科材料接着処理 a セラミックス被着面処理 b 金属被着面処理</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ②歯冠修復・義歯用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3-(1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。</p> | 岩井 仁寿 大村 基守 金村 紀明 杉村 大 木村 希也 庫山 未直 小泉 志保 西鹿 美徳 高藤 千春 鹿藤 春 齋藤 恭子 本 秀明 塩 道 杉山 紀明 鈴木 英秀 木原 宜子 関根 哲子 田 剛士 常川 幸 富田 幸 富田 梢 中川 行秀 並木 整 木 泰次 深澤 正幹 澤川 謙也 細野 隆 山本 憲 松 尚 渡 吾 康 |
| 2018/11/29 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義③:回転 切削器以外の切 削法と歯の色彩学 | <p>【授業の一般目標】 審美的なコンポジットレジン修復が行えるようになるために、歯科用レーザー、エアブレイシブおよび薬剤による腐蝕除去方法をと歯質の測色、コンポジットレジン色彩学的特徴および積層充填法について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 歯科用レーザーの種類と用途について説明できる。 2. 歯科用レーザーの特徴について説明できる。 3. 歯科用レーザー使用時の注意点について説明できる。 4. エアブレイシブと薬剤を併用した齶蝕象牙質の切削について説明できる。 5. シェードテイキングについて説明できる。 6. コンポジットレジン色彩学的特徴について説明できる。 7. 歯の色を測色する方法について説明できる。 8. コンポジットレジン色に関連する要素を説明できる。 9. コンポジットレジン色を考慮した積層法(レイヤリングテクニック)について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp.105~108、p158(4)色合わせについて予習しておく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VIII 歯科材料と歯科医療機器 2 診療用器械・器具 ア 診療用器械 d レーザー装置</p> <p>【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具) D-1 歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の特性と用途 ①歯科医療機器(歯科材料・器械・器具)の所要性質と用途を説明できる。</p> | 平山 聡司 岩井 啓寿 |
| 2018/12/06 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義④:象牙 質知覚過敏症とそ の処置方針 | <p>【授業の一般目標】 象牙質知覚過敏症の診断と処置ができるようになるために、症状の原因と特徴、診断に必要な検査および適切な処置方針と使用薬物について理解する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 象牙質知覚過敏症の特徴について説明できる。 2. 象牙質知覚過敏症の原因について説明できる。 3. 象牙質知覚過敏症の診断に必要な検査について説明できる。 4. 象牙質知覚過敏症の処置方針が立案できる。 5. 象牙質知覚過敏症の治療に用いる薬物の効果について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp.79~82の範囲を予習しておく。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略(LS)】</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|---|-------|
| 2018/12/06 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑭：象牙質知覚過敏症とその処置方針 | 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 d 象牙質知覚過敏症 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/12/13 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑮：歯の漂白 | 【授業の一般目標】 生活歯漂白法により変色歯を審美的に改善できるようになるために、変色歯の診断、生活歯漂白法の種類と使用薬物の取扱い方法および術式について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. 歯の変色の原因について説明できる。 2. テトラサイクリン変色歯の分類について説明できる。 3. 生活歯の漂白法の種類とその特徴について説明できる。 4. 漂白法に用いる薬剤の組成について説明できる。 5. オフィスブリーチの術式を説明できる。 6. ホームブリーチの術式を説明できる。 7. 生活歯漂白の問題点について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 82～88の範囲を予習しておく。 準備学修時間30分 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 g 歯の漂白 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ア 歯の硬組織疾患の病因と病態 e 歯の変色・着色 g 歯の変色・着色予防 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患（tooth wear（酸蝕症、咬耗、摩耗等）、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む）の症状、検査法、診断及び処置法（再石灰化療法を含む）を説明できる。 | 平山 聡司 |
| 2018/12/13 (木) 3時限 13:10～14:40 | 修復講義⑯：覆髄法とAIPC法 | 【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、除去すべきう蝕象牙質の識別と除去に使用する器具および歯髄保護について理解する。 【行動目標（SBOs）】 1. エナメル質の再石灰化療法について説明できる。 2. MIに基づいたう蝕象牙質の除去について説明できる。 3. う蝕処置に用いる器材について説明できる。 4. う蝕象牙質第一層と第二層について説明できる。 5. う蝕検知液によるう蝕象牙質の染め分けについて説明できる。 6. AIPC法の適応症について説明できる。 7. AIPC法の目的・術式および使用薬物について説明できる。 8. AIPC法と間接覆髄法の違いについて説明できる。 9. ART法の目的と使用材料について説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 保存修復学第6版、pp. 68～75、173～174の範囲を予習しておく。 準備学修時間30分 | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------|---|--|
| 2018/12/13 (木) 3時限 13:10～14:40 | 修復講義⑯: 覆髄法とAIPC法 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2018/12/13 (木) 4時限 14:50～16:20 | 修復実習26: 感染象牙質除去とAIPC法 | <p>【授業の一般目標】 う蝕による硬組織欠損の適切な処置ができるようになるために、う蝕象牙質の識別と除去に使用する器具の使用法およびAIPC法の術式について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 正しいチェアポジションで処置が行える。 2. ラバーダム防湿が実施できる。 3. う蝕検知液を適切に使用できる。 4. 回転切削器具を適切に使用できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 関連する実習マニュアル (ページは1週前に指示する) を予習する。 準備学修時間30分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 e 象牙質・歯髄保護法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光一 大塚 聖介 大井 椋 島田 裕美子 原野 弾 青野 英二 野田 淳 飯田 浩雅 飯田 宏 壹岐 哲明 伊東 仁寿 岩井 基守 大村 紀明 杉本 大 木村 希 山本 直也 庫田 志保 小泉 美徳 高鹿 千春 小西 恭子 齋藤 秀明 笹本 道紀 塩 山 道 杉山 英 鈴木 須原 関根 川 田 秀 常田 剛士 富久 幸 田 田 幸 富田 行 中川 秀 並木 整 深澤 泰次 藤川 正幹 細野 謙次 山本 隆也 若松 憲廣 渡邊 尚 夫 吾 夫 康 |
| 2018/12/20 (木) 2時限 10:40～12:10 | 修復講義⑰: まとめ講義 | <p>【授業の一般目標】 保存修復学後期で学修した知識をより深化させるために、講義⑪～⑰に関するまとめ講義内容について理解する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. MIコンセプトに基づいたコンポジットレジン修復窩洞の特徴について説明できる。 2. コンポジットレジン修復の特徴、使用器具および前準備について説明できる。 3. コンポジットレジン修復の接着操作、充填操作、研磨および予後について説明できる。 4. グラスアイオノマーセメント修復の特徴、使用器具および前準備について説明できる。 5. グラスアイオノマーセメント修復の接着操作、充填操作、研磨および予後について説明できる。 6. セラミックインレー修復の特徴、窩洞形態、レジンコーティングについて説明できる。 7. セラミックインレー修復の術式と接着操作について説明できる。 8. 異種材料に対する補修復の目的と接着操作および使用処理剤とその術式について説明できる。 9. 象牙質知覚過敏症の原因と診断および治療方針について説明できる。 10. 生活歯漂白法の種類と使用薬物および術式について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 講義⑪～⑰の復習 準備学修時間60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> | 平山 聡司 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------|---|--|
| 2018/12/20 (木) 2時限 10:40~12:10 | 修復講義⑳:まとめ講義 | <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 b 永久歯の直接修復法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 1 歯の硬組織疾患 ウ 歯の硬組織疾患の治療 c 永久歯の間接修復法 d 窩洞形成法 e 象牙質・歯髄保護法 f 補修修復 g 歯の漂白</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ①歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の病因と病態を説明できる。 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (1) 齶蝕その他の歯の硬組織疾患の診断と治療 ①齶蝕その他の歯の硬組織疾患 (tooth wear (酸蝕症、咬耗、摩耗等)、生活歯の変色、象牙質知覚過敏症を含む) の症状、検査法、診断及び処置法 (再石灰化療法を含む) を説明できる。 ②minimal intervention <MI>に基づく歯科治療の意義、臨床的対応を説明できる。 ③修復材料とその取扱い、修復法の適応を説明できる。 ④修復に必要な前処置の目的と意義を説明できる。 ⑤歯髄保護の意義、種類と方法を説明できる。 ⑥窩洞形成の意義と方法を説明できる。 ⑦仮封の意義、種類及び特徴を説明できる。 ⑧修復後の管理の目的と方法を説明できる。</p> | 平山 聡司 |
| 2019/01/10 (木) 2時限 10:40~12:10 | 平常試験4・解説講義 | <p>【授業の一般目標】 修復講義⑳~㉑の範囲についてMCQと筆記による試験を行う。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 修復講義⑳~㉑までの範囲の復習 準備学修時間3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室</p> | 平山 聡司 岡田 珠美 岩井 啓寿 |
| 2019/01/17 (木) 2時限 10:40~12:10 | 実習口頭試問 | <p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲: 修復実習11~25までの範囲</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 2. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 3. 症例に応じて適切な修復方法を選択し、その治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 修復実習⑩~㉑までの範囲を復習しておく。 準備学修時間3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第4実習室</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 中島 光 大塚 一聖 井上 椋介 島田 裕美子 塚原 弾 青野 英二 熱田 互 飯田 淳 飯田 浩雅 壹岐 宏二 伊東 明 岩井 仁寿 大村 基守 大金 紀明 木村 大 山本 希也 小泉 直也 高鹿 志保 小西 美徳 齋藤 春子 笹本 恭子 塩 秀明 山道 紀明 鈴木 英明 須原 秀宜 関根 哲 田川 剛士 常富 幸 富田 久 富田 行 中川 秀整 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------|--|--|
| 2019/01/17 (木) 2時限 10:40～12:10 | 実習口頭試問 | <p>【授業の一般目標】 口頭試問の範囲：修復実習1 1～2 5までの範囲</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 2. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 3. 症例に応じて適切な修復方法を選択し、その治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 修復実習⑩～⑳までの範囲を復習しておく。 準備学修時間3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> | 並木 泰次 深澤 正謙 藤川 次 細野 隆 山本 憲也 若松 廣 渡邊 尚 夫 |
| 2019/01/17 (木) 3時限 13:10～14:40 | 実習口答試問 | <p>【授業の一般目標】 口答試問の範囲：修復実習1 1～2 5までの範囲</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 実習で学んだ修復術式について説明できる。 2. 実習で使用した器具の名称と用途について説明できる。 3. 症例に応じて適切な修復方法を選択し、治療計画について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 修復実習⑩～⑳までの範囲を復習しておく。 準備学修時間3時間</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 大島 光一 塚上 聖介 大井 椋美 島田 裕美 原野 弾 青野 英二 野田 瓦 熱田 淳 飯田 浩 泉田 雅 飯田 宏 壹岐 哲 伊東 明 岩井 仁 大村 寿 大村 守 金村 基 杉村 紀 木村 明 大木 大 庫山 希 小泉 直 高直 也 鹿志 保 小西 徳 齋藤 春 笹本 子 塩本 恭 秀明 明 杉山 道 鈴木 紀 須原 英 関根 宜 田川 子 田 幸 富田 士 富田 幸 中田 剛 中川 秀 並木 行 深澤 泰 藤川 次 細野 正 山本 謙 若松 隆 渡邊 憲 夫 |
| 2019/01/24 (木) 2時限 10:40～12:10 | 実習実技試験 2 | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジン修復2級窩洞における窩洞形成、隔壁設置、接着操作、充填および研磨が実施できる。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. コンポジットレジン2級窩洞にタッフルマイヤー型マトリックスリテーナーの装着ができる。 2. コンポジットレジンの適切な接着操作ができる。 3. 解剖学的形態を考慮したレジン充填ができる。 4. レジン充填後の形態修正ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 コンポジットレジンの術式と隔壁設置およびレジンの充填操作について 準備学修時間60分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 第4実習室</p> | 平山 聡司 神谷 直孝 岡田 珠美 岩井 啓寿 寺中 文子 大島 光一 塚上 聖介 大井 椋美 島田 裕美 原野 弾 青野 英二 野田 瓦 熱田 淳 飯田 浩 泉田 雅 飯田 宏 壹岐 哲 伊東 明 岩井 仁 大村 寿 大村 守 金村 基 杉村 紀 木村 明 大木 大 庫山 希 小泉 直 高直 也 鹿志 保 小西 徳 齋藤 春 笹本 子 塩本 恭 秀明 明 杉山 道 鈴木 紀 須原 英 関根 宜 田川 子 田 幸 富田 士 富田 幸 中田 剛 中川 秀 並木 行 深澤 泰 藤川 次 細野 正 山本 謙 若松 隆 渡邊 憲 夫 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------|---|---|
| 2019/01/24 (木) 2時限 10:40～12:10 | 実習実技試験 2 | <p>【授業の一般目標】 コンポジットレジン修復 2 級窩洞における窩洞形成、隔壁設置、接着操作、充填および研磨が実施できる。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. コンポジットレジン 2 級窩洞にタッフルマイヤー型マトリックスリテーナーの装着ができる。 2. コンポジットレジンの適切な接着操作ができる。 3. 解剖学的形態を考慮したレジン充填ができる。 4. レジン充填後の形態修正ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 コンポジットレジンの術式と隔壁設置およびレジンの充填操作について 準備学修時間 60 分</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング なし</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 第 4 実習室</p> | 常田 幸齊 富久田 梢 富田 行秀 中川 整 並木 泰次 深澤 正幹 藤川 謙次 細野 隆也 山本 憲廣 若松 尚 渡邊 吾夫 |

歯内療法学

| | | |
|-----|----|--------------|
| 年次 | 学期 | 学修ユニット責任者 |
| 3年次 | 通年 | 松島 潔 (歯内療法学) |

| | |
|--------------------------|--|
| 学修ユニット 学修目標 (GIO) | う蝕の進行あるいは外傷によって歯の中心に存在している歯髄（軟組織：いわゆる歯の神経）に疾患（主に歯髄炎）がおよぶようになる。また、生活力を失った歯髄は、根尖の歯周組織に新たな疾患を引き起こす。疾患に陥った歯髄を健康に回復あるいは歯髄を除去する処置、失活によって引き起こされた根尖の歯周組織の疾患を治癒し、歯の維持を図ることを目的とした学問である。歯の痛みや腫れを伴い、患者にとって非常に辛い疾患を適応とする分野であるため、適切な診断と処置を要求される。迅速に、的確に診断し、処置を行えるようになるために、歯内療法の知識、技能を習得する。 |
| 担当教員 | 松島 潔、辻本 恭久、川島 正、岡部 達、神尾 直人、齊藤 梨紗、鈴木 誠、染谷 ひとみ、葉山 朋美、吉田 陽子、和田 健、※相浦 誠一郎、※伊澤 真人、※上田 幾大、※大林 英美、※喜多 規雄、※五味 博之、※斎藤 一央、※酒井 きよ美、※塩沢 督、※高瀬 俊彦、※高橋 知多香、※田中 みどり、※塚田 典功、※寺澤 秀朗、※富田 敬、※中澤 弘貴、※長島 潔、※中嶋 真樹、※中沼 邦欣、※馬場 俊晃、※久松 弘幸、※福田 涼子、※細谷 史規、※三浦 孝司、※村上 芳弘、※本木 平和、※山浦 賀弘、和田 守康、長濱 文雄 |
| 教科書 | 歯内治療学 第4版 中村洋、須田英明、勝海一郎、興地隆史、他 医歯薬出版 Endodontics Manual (歯内実習マニュアル) 松島潔、辻本恭久、他 歯内療法学講座 |
| 参考図書 | エンドドンティクス 第4版 須田英明、中村洋 他 永末書店 |
| 評価方法 (EV) | 歯内講義 (60%) : 平常試験①～④ 歯内実習 (40%) : 実習筆記試験、実技試験 (2回)、レポート、実習態度 の総合評価 平常試験は、原則的に追試験を行いません。 |
| 学生への メッセージ オフィスアワー | 歯科保存学は歯科臨床の基礎であり、日常臨床では高頻度で行われている処置である。適切な診断、処置が行えるようになるために、基礎医学から臨床まで系統だった知識の整理が必要です。試験間際のみでの学習ではなく、日頃から授業終了後のまとめを欠かさずしておくことが不可欠です。 実習では、臨床の場を想定して主にマネキン実習を行う。したがって、頭髪、爪、服装など歯科医療人として清潔な身だしなみを常に心がけて実習に臨むこと。 講義、実習で、不明なところはそのままにせず積極的に質問すること。 また、e-mail 松島 : matsushima.kiyoshi@nihon-u.ac.jp による質問を受け付ける。 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|------|
| 2018/04/06 (金) 3時限 13:10~14:40 | 歯内講義①: 歯内療法概論・歯の形態・歯髄の構造と機能 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髄の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法の処置の流れを説明できる。 2. ②歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。 3. ③歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/04/06 (金) 4時限 14:50~16:20 | 歯内講義①: 歯内療法概論・歯の形態・歯髄の構造と機能 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯種別の歯根および歯髄の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|--|------|
| 2018/04/06 (金) 4時限 14:50～16:20 | 歯内講義①：歯内療法概論・歯の形態・歯髄の構造と機能 | <p>1. ①歯内療法の処置の流れを説明できる。 2. ②歯種別の歯根と歯髄の形態と特徴を説明できる。 3. ③歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠および歯根の形態を説明できる。 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/04/13 (金) 3時限 13:10～14:40 | 歯内講義②：歯内療法で扱う疾患 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患および根尖歯周疾患を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄疾患を説明できる。 2. ②根尖歯周疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/04/13 (金) 4時限 14:50～16:20 | 歯内講義②：歯内療法で扱う疾患 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患および根尖歯周疾患を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄疾患を説明できる。 2. ②根尖歯周疾患を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|------|
| 2018/04/13 (金) 4時限 14:50~16:20 | 歯内講義②：歯内療法で扱う疾患 | <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/04/20 (金) 3時限 13:10~14:40 | 歯内講義③：歯髄疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖歯周疾患の病理変化を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の進行、症状、病理変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般組織炎症の兆候を説明できる。 一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/04/20 (金) 4時限 14:50~16:20 | 歯内講義③：歯髄疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖歯周疾患の病理変化を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の進行、症状、病理変化を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の進行、症状、病理変化を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般組織炎症の兆候を説明できる。 一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|------|
| 2018/04/20 (金) 4時限 14:50～16:20 | 歯内講義③：歯髄疾患、根尖性歯周炎の症状と病理変化 | <p>必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/05/18 (金) 3時限 13:10～14:40 | 歯内講義④：歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口腔内細菌を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅲ 病因、病態 1 病因、病態 オ 炎症 b 原因 c 分類と病態 d 炎症に関与する細胞 2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態 ア 主な病因・病態 b 歯・歯周組織の疾患 総論Ⅳ 主要症候 2 口腔・顎顔面の症候 ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因 ②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/05/18 (金) 4時限 14:50～16:20 | 歯内講義④：歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯髄炎の原因を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口腔内細菌を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 7 主要な疾患と障害の病因・病態 イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念 b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------------|--|---------------|
| 2018/05/18 (金) 4時限 14:50～16:20 | 歯内講義④：歯髄疾患、根尖歯周疾患の原因 | <p>総論Ⅲ 病因、病態</p> <p>1 病因、病態</p> <p>オ 炎症</p> <p>b 原因</p> <p>c 分類と病態</p> <p>d 炎症に関与する細胞</p> <p>2 口腔・顎顔面領域の疾患の病因・病態</p> <p>ア 主な病因・病態</p> <p>b 歯・歯周組織の疾患</p> <p>総論Ⅳ 主要症候</p> <p>2 口腔・顎顔面の症候</p> <p>ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/05/25 (金) 3時限 13:10～14:40 | 歯内平常試験①：歯内講義①～④の範囲（記述式試験） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>歯内療法試験範囲：歯内講義①～④の範囲</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室、第4実習室</p> | 松島 潔 |
| 2018/06/01 (金) 4時限 14:50～16:20 | 歯内講義⑤：歯内療法学と基礎医学 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>歯髄疾患、根尖歯周疾患を理解するために、基礎医学との関連を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. 歯内療法学の基礎となる解剖、組織、病理学、細菌学を復習し、理解する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>歯および歯周組織に関連する基礎を再復習する。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>a 生体構成成分の構造・機能</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>5 人体の正常構造・機能</p> <p>ア 全身・口腔の構造と機能</p> <p>f 免疫（免疫担当細胞、自然免疫、体液性免疫、細胞性免疫、粘膜免疫）</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢</p> <p>3 免疫</p> <p>ア 免疫系担当臓器・細胞</p> <p>ウ 自然免疫</p> <p>a 体液性免疫</p> <p>b 細胞性免疫</p> <p>5 歯と歯周組織の構造</p> <p>イ 組織と性状</p> <p>a エナメル質、象牙質、歯髄</p> <p>総論Ⅲ 病因、病態</p> <p>1 病因、病態</p> <p>オ 炎症</p> <p>c 分類と病態</p> <p>d 炎症に関与する細胞</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能</p> <p>⑤歯髄の構造と機能を説明できる。</p> <p>⑥歯周組織の発生、構造及び機能を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/06/08 (金) 3時限 13:10～14:40 | 歯内講義⑥：歯髄炎、根尖性歯周炎の分類 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄炎、根尖性歯周炎の分類を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. ①歯髄炎の原因、進行、分類、診査法を説明できる。</p> <p>2. ②歯髄炎の進展の特徴を説明できる。</p> <p>3. ③象牙質知覚過敏症と歯髄炎の違いを説明できる。</p> | 岡部 達 神尾 直人 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|---------------|
| 2018/06/08 (金) 3時限 13:10～14:40 | 歯内講義⑥：歯髄炎、根尖性歯周炎の分類 | <p>4. ④根尖性歯周炎の原因，進行，分類，診査法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疼痛の伝達を説明できる。 ・一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>7 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念</p> <p> b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅳ 主要症候</p> <p>2 口腔・顎顔面の症候</p> <p>ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p> <p>2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態</p> <p> a 歯髄疾患</p> <p> b 根尖性歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 岡部 達 神尾 直人 |
| 2018/06/08 (金) 4時限 14:50～16:20 | 歯内講義⑥：歯髄炎、根尖性歯周炎の分類 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄炎、根尖性歯周炎の分類を理解する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①歯髄炎の原因，進行，分類，診査法を説明できる。 2. ②歯髄炎の進展の特徴を説明できる。 3. ③象牙質知覚過敏症と歯髄炎の違いを説明できる。 4. ④根尖性歯周炎の原因，進行，分類，診査法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・疼痛の伝達を説明できる。 ・一般炎症の進展にかかわる物質を説明できる。 <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】</p> <p>講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p> <p>第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p> <p>必修の基本的事項</p> <p>7 主要な疾患と障害の病因・病態</p> <p>イ 口腔・顎顔面領域の疾患と障害の概念</p> <p> b 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> <p>歯科医学総論</p> <p>総論Ⅳ 主要症候</p> <p>2 口腔・顎顔面の症候</p> <p>ア 歯、歯髄・根尖歯周組織</p> <p>歯科医学各論</p> <p>各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患</p> <p>2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患</p> <p>ア 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の病因と病態</p> <p> a 歯髄疾患</p> <p> b 根尖性歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学</p> <p>E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> <p>E-3-2) 歯と歯周組織の疾患の特徴と病因</p> <p>②歯髄・根尖性歯周疾患の病因と病態を説明できる。</p> | 岡部 達 神尾 直人 |
| 2018/06/15 (金) 3時限 13:10～14:40 | 歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法） | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. ①炎症の基本的概念を説明できる。 2. ②歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 3. ③歯髄炎の処置法を説明できる。 4. ④間接覆髄法（直接・間接）の術式，薬剤を説明できる。 5. ⑤暫間的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。 6. ⑥治癒機転を説明できる。 | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|------|
| 2018/06/15 (金) 3時限 13:10~14:40 | 歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法） | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法 b 手術野の防湿・消毒、清潔操作 d 標準予防策<standard precautions></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/06/15 (金) 4時限 14:50~16:20 | 歯内講義⑦：歯髄炎の臨床（歯髄保存療法） | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①炎症の基本的概念を説明できる。 2. ②歯髄炎の種類と臨床症状を説明できる。 3. ③歯髄炎の処置法を説明できる。 4. ④間接覆髄法（直接・間接）の術式、薬剤を説明できる。 5. ⑤暫間的間接覆髄法（IPC法）について説明できる。 6. ⑥治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 エ 消毒・滅菌と感染対策 a 消毒・滅菌法 b 手術野の防湿・消毒、清潔操作 d 標準予防策<standard precautions></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/06/22 (金) 3時限 | 歯内講義⑧：歯髄炎の臨床（歯髄除 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|--|------|
| 13:10~14:40 | 去療法) | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①歯髄切断法の適応症, 術式を説明できる。 ②歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 ③抜髄法の適応症, 術式を説明できる。 ④抜髄法の治癒機転を説明できる。 ⑤除痛法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/06/22 (金) 4時限 14:50~16:20 | 歯内講義⑧：歯髄炎の臨床 (歯髄除去療法) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄除去療法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①歯髄切断法の適応症, 術式を説明できる。 ②歯髄切断法後の治癒機転を説明できる。 ③抜髄法の適応症, 術式を説明できる。 ④抜髄法の治癒機転を説明できる。 ⑤除痛法について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 可逆性、不可逆性歯髄炎の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/06/29 (金) 3時限 13:10~14:40 | 歯内講義⑨：根尖性歯周炎の臨床 (感染根管治療) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 ②根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 ③肉芽と不良肉芽について説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|-------|
| 2018/06/29 (金) 3時限 13:10~14:40 | 歯内講義⑨：根尖性歯周炎の臨床(感染根管治療) | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/06/29 (金) 4時限 14:50~16:20 | 歯内講義⑨：根尖性歯周炎の臨床(感染根管治療) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根尖性歯周炎の治療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根尖性歯周炎の臨床症状を説明できる。 2. ②根尖性歯周炎の処置法を説明できる。 3. ③肉芽と不良肉芽について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 一般炎症の兆候を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/07/06 (金) 3時限 13:10~14:40 | 歯内講義⑩：歯内療法の原則 | <p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の原則を説明できる。 2. ②歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 3. ③細菌検査を説明できる。 4. ④歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 5. ⑤根管長測定法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------|--|-------|
| 2018/07/06 (金) 3時限 13:10～14:40 | 歯内講義⑩：歯内療法の原則 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p> | 辻本 恭久 |
| 2018/07/06 (金) 4時限 14:50～16:20 | 歯内講義⑩：歯内療法の原則 | <p>【授業の一般目標】 適切な根管治療ができるようになるために、歯内療法の原則を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の原則を説明できる。 2. ②歯内療法における細菌の制御の重要性を説明できる。 3. ③細菌検査を説明できる。 4. ④歯内療法の術式、器具、薬剤の扱いについて説明できる。 5. ⑤根管長測定法について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠・歯根・根管の形態を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p> | 辻本 恭久 |
| 2018/07/13 (金) 3時限 13:10～14:40 | 歯内講義⑪：抜髄と感染根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、実践的な抜髄および感染根管治療の基本を修得する。</p> | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------|---|---------------|
| 2018/07/13 (金) 3時限 13:10~14:40 | 歯内講義⑪：抜髄と感染根管治療 | <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根管拡大の意義を説明できる。 ②歯内療法の適応を選択できる。 ③抜髄と感染根管治療の違いを説明できる。 ④感染根管の成立について説明できる。 ⑤感染根管の臨床的意義について説明できる。 ⑥顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 炎症の原因を説明できる。 嫌気性菌、グラム陽性、陰性菌を説明できる。 炎症の進展を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 辻本 恭久 |
| 2018/07/13 (金) 4時限 14:50~16:20 | 歯内講義⑪：抜髄と感染根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、実践的な抜髄および感染根管治療の基本を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①根管拡大の意義を説明できる。 ②歯内療法の適応を選択できる。 ③抜髄と感染根管治療の違いを説明できる。 ④感染根管の成立について説明できる。 ⑤感染根管の臨床的意義について説明できる。 ⑥顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 炎症の原因を説明できる。 嫌気性菌、グラム陽性、陰性菌を説明できる。 炎症の進展を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 辻本 恭久 |
| 2018/07/20 (金) 3時限 | 歯内講義⑫：今までのまとめ | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的事項を修得する。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|-------------------------------------|---------------|---|---------------|
| 13:10~14:40 | 歯内講義⑫：今までのまとめ | <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の基本的な診断、術式の流れを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 今までに学んだ事項について、理解できたこと、理解できないことを整理しておくこと</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |
| 2018/07/20（金） 4時限 14:50~16:20 | 歯内講義⑫：今までのまとめ | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的事項を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①歯内療法の基本的な診断、術式の流れを説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 今までに学んだ事項について、理解できたこと、理解できないことを整理しておくこと</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ③歯髄・根尖性歯周疾患の治療時における合併症（偶発症）について、種類、処置及び予防を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------------------------|--|--|
| 2018/08/31 (金) 3時限 13:10~14:40 | 歯内平常試験②: 歯内講義⑤~⑫の 範囲 (記述式試験) | 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑤~⑫の範囲 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記 (記述式) 試験 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻本 恭久 |
| 2018/08/31 (金) 4時限 14:50~16:20 | 歯内平常試験②: 歯内講義⑤~⑫の 範囲 (記述式試験) | 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑤~⑫の範囲 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記 (記述式) 試験 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻本 恭久 |
| 2018/09/19 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑬: 歯内 療法の基本概念と 基本操作 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本概念と基本操作を 修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作ができる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④根管洗浄の術式を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド 【学修方略 (LS)】 講義 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論II 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 | 辻本 恭久 |
| 2018/09/19 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習①: 前準 備、基本的概念 (1) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるように、歯内療法の基本的操作を修得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作ができる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④歯内療法の基本的な器具操作ができる。 5. ⑤根管洗浄の基本的操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、根管 模型、貸与器具、持参器具 【学修方略 (LS)】 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳代 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 詔 規雄 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|---|
| 2018/09/19 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習①: 前準備、基本的概念 (1) | 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 | 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 井 督彦 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田中 功 塚 典功 澤田 みどり 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長 潔 島 邦欣 沼場 俊晃 中馬 弘幸 久松 幸子 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本 平和 山 賀弘 |
| 2018/09/19 (水) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習①: 前準備、基本的概念 (1) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるように、歯内療法の基本的操作を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①歯内療法で用いる器具を説明できる。 2. ②歯内療法の基本的な器具操作ができる。 3. ③根管拡大の概念を説明できる。 4. ④歯内療法の基本的な器具操作ができる。 5. ⑤根管洗浄の基本的操作ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠、歯根の形態を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、根管模型、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 c 永久歯 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。 ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正達 岡部 達人 神尾 陽子 吉田 誠 鈴木 朋美 山本 謙滋 葉井 梨紗 深藤 ひとみ 齋藤 健 染和 理裕 田井 千佳 石原 誠一郎 相浦 眞人 浦澤 幾大 上田 英美 大林 英雄 大喜 多規 喜話 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 井 督彦 高瀬 俊彦 高橋 知多香 田中 功 塚 典功 澤田 みどり 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長 潔 島 邦欣 沼場 俊晃 中馬 弘幸 久松 幸子 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本 平和 山 賀弘 |
| 2018/09/26 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義④: 根管形成・洗浄、根管充填 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管形成・洗浄、根管充填を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①根管拡大、形成の目的を説明できる。 2. ②根管形成の術式を説明できる。 3. ③根管洗浄を説明できる。 4. ④根管充填の目的を説明できる。 5. ⑤根管充填の時期を説明できる。 6. ⑥根管充填法の種類を説明できる。 7. ⑦根管充填材(剤)について説明できる。 8. ⑧根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング: 無、黒板、スライド 【学修方略(LS)】 講義 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法 | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|---|---|
| 2018/09/26 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内講義⑭：根管形成・洗浄、根管充填 | <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 ④歯髄・根尖性歯周疾患の治療後の治癒機転と予後を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2018/09/26 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯内実習②：歯内療法の基本概念的 (2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根管形成の概念を説明できる。 2. ②根管形成の基本的な器具操作ができる。 3. ③基本的な根管形成ができる。 4. ④根管充填の概念を説明できる。 5. ⑤側方加圧充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深山 謙滋 井藤 梨紗 谷口 ひとみ 染谷 健 和田 理裕 石井 千佳 菅原 千佳 相浦 誠一郎 澤田 真人 伊田 幾大 上田 英美 大林 英 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 田澤 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 島沼 邦 中馬 欣 久松 晃 福田 幸 細谷 涼 三浦 史 村上 孝 上本 司 山浦 芳弘 賀弘 平和 賀弘 |
| 2018/09/26 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯内実習②：歯内療法の基本概念的 (2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法の基本的操作を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①根管形成の概念を説明できる。 2. ②根管形成の基本的な器具操作ができる。 3. ③基本的な根管形成ができる。 4. ④根管充填の概念を説明できる。 5. ⑤側方加圧充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法の基本器具操作できる。 根管拡大の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual、根管模型、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【国家試験出題基準（副）】</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深山 謙滋 井藤 梨紗 谷口 ひとみ 染谷 健 和田 理裕 石井 千佳 菅原 千佳 相浦 誠一郎 澤田 真人 伊田 幾大 上田 英美 大林 英 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 田澤 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|---|
| 2018/09/26 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯内実習②：歯内療法の基本概念(2) | <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 上木 平和 山浦 賀弘 |
| 2018/10/03 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内講義⑮：根管充填 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管充填を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①根管充填法の種類を説明できる。 2. ②種々の根管充填法による利点を説明できる。 3. ③根管充填材(剤)を説明できる。 4. ④根管充填後の予後と治癒機転を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 辻本 恭久 |
| 2018/10/03 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯内実習③：歯髄の保護(歯髄保存療法) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法の操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①う蝕の状態を図示できる。 2. ②歯内療法の前処置としてのう窩処置ができる。 3. ③歯髄鎮静法で用いる薬剤を選択できる。 4. ④歯髄鎮静法ができる。 5. ⑤覆髄法で使用する薬剤を選択できる。 6. ⑥覆髄法ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕の原因を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、天然歯、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防充填・歯内療法用材料 ウ 歯内療法用材料 b 仮封材、裏層材、覆髄材</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正達 岡部 直人 神尾 陽子 吉田 誠 鈴木 朋美 葉山 謙滋 深井 梨紗 齊藤 ひとみ 染谷 健 和田 理裕 石井 千佳 菅原 相浦 伊澤 誠一郎 上田 幾人 大林 英大 大喜 英美 多話 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|---|--|
| 2018/10/03 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習③:歯髄の保護(歯髄保存療法) | <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2018/10/03 (水) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習③:歯髄の保護(歯髄保存療法) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯髄保存療法の操作を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①う蝕の状態を図示できる。 2. ②歯内療法の前処置としてのう窩処置ができる。 3. ③歯髄鎮静法で用いる薬剤を選択できる。 4. ④歯髄鎮静法ができる。 5. ⑤覆髄法で使用する薬剤を選択できる。 6. ⑥覆髄法ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 う蝕の原因を説明できる。 エナメル質、象牙質の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、天然歯、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 a 歯髄保存療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論Ⅷ 歯科材料と歯科医療機器 5 成形修復・予防填塞・歯内療法用材料 ウ 歯内療法用材料 b 仮封材、裏層材、覆髄材</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 謙 齊藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中嶋 弘貴 長嶋 真樹 馬場 邦欣 久松 晃 松山 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 上木 平和 山浦 賀弘 |
| 2018/10/17 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑩:歯内療法の特種療法 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、特種な療法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①イオン導入法について説明できる。 2. ②顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 3. ③新しい歯内療法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯髄炎の原因を説明できる。 根尖性歯周炎の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 c 根尖性歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患</p> | 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-------------------------|--|--|
| 2018/10/17 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内講義⑩:歯内療法の特種療法 | E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む) ⑤外科的歯内療法(手術用実体顕微鏡の利用を含む)の種類と適応を説明できる。 | 辻本 恭久 |
| 2018/10/17 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯内実習④:下顎小臼歯(人工歯)の感染根管治療 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①下顎小臼歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②下顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 3. ③感染根管治療の概念を説明できる。 4. ④下顎小臼歯の根管形成ができる。 5. ⑤根管形成後の形態を説明できる。 6. ⑥根管形成ができる。 7. ⑦マスターポイントの試適を説明できる。 8. ⑧根管充填の目的を説明できる。 9. ⑨根管充填ができる。 10. ⑩根管治療の評価ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 謙滋 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦 馬場 欣 久松 俊 福田 弘 細谷 涼 三浦 史 村上 孝 上木 芳 山浦 弘 賀弘 |
| 2018/10/17 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯内実習④:下顎小臼歯(人工歯)の感染根管治療 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の歯内療法の手技を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①下顎小臼歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②下顎小臼歯のアクセスオープニングができる。 3. ③感染根管治療の概念を説明できる。 4. ④下顎小臼歯の根管形成ができる。 5. ⑤根管形成後の形態を説明できる。 6. ⑥根管形成ができる。 7. ⑦マスターポイントの試適を説明できる。 8. ⑧根管充填の目的を説明できる。 9. ⑨根管充填ができる。 10. ⑩根管治療の評価ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎小臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 謙滋 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦 馬場 欣 久松 俊 福田 弘 細谷 涼 三浦 史 村上 孝 上木 芳 山浦 弘 賀弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|--|---|
| 2018/10/17 (水) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習④：下顎 小臼歯（人工歯） の感染根管治療 | E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む） を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 和谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾人 大林 英美 喜多 規 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 美 高瀬 俊彦 高橋 多 中田 知みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 中長 潔 中馬 邦 久松 欣 福田 晃 福谷 涼子 細谷 史規 村上 孝司 本山 芳弘 山浦 平和 賀弘 |
| 2018/10/24 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑰：新し い歯内療法 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、最新の歯内療法を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①Ni-Tiファイルを用いた根管治療を説明できる。 2. ②Ni-Tiファイルの特徴を説明できる。 3. ③顕微鏡を用いた歯内療法を説明できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の流れを説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド 【学修方略（LS）】 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 【コアカリキュラム】 D 歯科医療機器（歯科材料・器械・器具） D-2 歯科材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法 ⑥歯内療法用材料の種類、用途、成分・組成、特性、操作方法を説明できる。 | 辻本 恭久 |
| 2018/10/24 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習⑤：上下 顎前歯（人工歯） の抜髄・根管治療 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上下顎前歯（人工歯）の抜髄・根 管治療の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①上下顎前歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②上下顎前歯のアクセスオープニングができる。 3. ③抜髄ができる。 4. ④仮封ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 和谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------|--|--|
| 2018/10/24 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習⑤：上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療 | <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 井 督彦 塩沢 俊彦 高瀬 知多 高橋 香 田中 みどり 塚 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 俊晃 福田 弘幸 細谷 涼子 三浦 史規 村上 孝司 本 芳弘 山 平和 賀 弘 |
| 2018/10/24 (水) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑤：上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上下顎前歯(人工歯)の抜髄・根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①上下顎前歯にラバーダム防湿ができる。 2. ②上下顎前歯のアクセスオープニングができる。 3. ③抜髄ができる。 4. ④仮封ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 松島 潔 辻本 久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 山 朋美 深井 謙 藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 裕 菅原 千佳 相浦 誠一 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 井 督彦 塩沢 俊彦 高瀬 知多 高橋 香 田中 みどり 塚 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中馬 邦欣 久松 俊晃 福田 弘幸 細谷 涼子 三浦 史規 村上 孝司 本 芳弘 山 平和 賀 弘 |
| 2018/10/31 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内講義⑧：外傷歯の歯内療法 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、外傷歯に対する歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. ①受傷した歯の状態を説明できる。 2. ②受傷した歯に対する歯内療法の対応を説明できる。 3. ③歯根破折の原因と予防を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 外傷歯の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略(LS)】</p> | 川島 正 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|---|--|
| 2018/10/31 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内講義⑧：外傷 歯の歯内療法 | 講義 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 i 外傷歯の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (2) 外傷 ③歯の外傷と歯槽骨骨折の原因、種類、症状、診断法及び治療法を説明できる。 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 | 川島 正 |
| 2018/10/31 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯内実習⑥：上下 顎前歯（人工歯） の根管充填、細菌 検査 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①根管形成後の形態を説明できる。 2. ②根管形成ができる。 3. ③マスターポイントの試適ができる。 4. ④根管充填ができる。 5. ⑤細菌検査の目的を説明できる。 6. ⑥細菌検査ができる。 7. ⑦細菌検査を評価できる。 8. ⑧根管治療の評価ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填 【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 謙滋 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 詔規 五味 博之 斎藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 敬 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 弘貴 中澤 真樹 中嶋 潔 長島 邦欣 中馬 俊晃 馬場 弘幸 久福 涼子 細谷 史規 村上 孝司 上本 芳弘 山浦 平和 賀弘 |
| 2018/10/31 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯内実習⑥：上下 顎前歯（人工歯） の根管充填、細菌 検査 | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、単根歯の根管充填の手技を修得する。 【行動目標（SBOs）】 1. ①根管形成後の形態を説明できる。 2. ②根管形成ができる。 3. ③マスターポイントの試適ができる。 4. ④根管充填ができる。 5. ⑤細菌検査の目的を説明できる。 6. ⑥細菌検査ができる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 謙滋 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|---|---|
| 2018/10/31 (水) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑥：上下顎前歯（人工歯）の根管充填、細菌検査 | <p>7. ⑦細菌検査を評価できる。 8. ⑧根管治療の評価ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上下顎前歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 口腔内の細菌について説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 佳代 伊澤 誠一郎 上田 真人 大林 幾大 大喜 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 央 酒井 一 塩沢 きよ美 高瀬 督 高橋 彦 田中 知多 塚中 みどり 田典 功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘 中嶋 真樹 長島 潔 島沼 邦 中馬 欣 久松 俊 福松 弘 細田 涼 三浦 史 村上 孝 上本 芳 山浦 弘 賀平 和 賀弘 |
| 2018/11/07 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内平常試験③：歯内講義⑬～⑱の範囲（記述式試験） | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内講義⑬～⑱の内容を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 歯内講義⑬の内容を説明できる。 2. 歯内講義⑭の内容を説明できる。 3. 歯内講義⑮の内容を説明できる。 4. 歯内講義⑯の内容を説明できる。 5. 歯内講義⑰の内容を説明できる。 6. 歯内講義⑱の内容を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑬～⑱の範囲の内容を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記試験（記述式）</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> | 松島 潔 辻本 恭 川島 久 正 |
| 2018/11/07 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習⑦：単根歯（天然歯）の感染根管治療・根管充填 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、感染根管治療、根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①単根管歯のアクセスオープニングができる。 2. ②単根管歯の根管形成ができる。 3. ③単根管歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯の形態を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> | 松島 潔 辻本 恭 川島 久 岡部 正 神尾 達 吉田 直 鈴木 人 山田 陽 深井 子 藤井 誠 齋藤 美 染谷 謙 和石 梨 菅原 紗 相浦 ひと 伊澤 健 上田 理 大喜 裕 喜多 千 五味 佳 齋藤 代 酒井 誠 塩沢 真人 高瀬 幾 高橋 大 田中 英 塚中 美 寺澤 規 富田 雄 中澤 博 敬 弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------|---|---|
| 2018/11/07 (水) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習⑦：単根歯(天然歯)の感染根管治療・根管充填 | <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | <p>中嶋 真樹 長 潔 沼場 邦欣 中馬 俊晃 久松 弘幸 久松 幸子 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘</p> |
| 2018/11/07 (水) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑦：単根歯(天然歯)の感染根管治療・根管充填 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、感染根管治療、根管充填の手技を修得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】</p> <p>1. ①単根管歯のアクセスオープニングができる。 2. ②単根管歯の根管形成ができる。 3. ③単根管歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>歯の形態を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準(副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む)を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | <p>松島 潔 辻本 恭久 川島 正達 岡部 直人 神尾 陽子 吉田 真樹 鈴木 誠 木山 朋美 葉山 深滋 藤井 梨紗 藤谷 ひとみ 染谷 健裕 和石 千佳 井原 一郎 相浦 真人 澤田 幾大 上田 英美 大喜 規雄 多 博 五 博 斎 一 藤 央 井 美 酒 美 井 美 塩 督 高 俊 瀬 彦 高 知 橋 多 田 香 塚 典 寺 典 澤 秀 富 敬 中 弘 嶋 真 長 樹 島 潔 中 邦 馬 欣 久 晃 松 弘 久 幸 福 涼 細 史 谷 規 三 孝 浦 司 上 芳 本 弘 山 平 浦 賀</p> |
| 2018/11/14 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内実習筆記試験：歯内療法学実習で学んだ事項 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>歯内療法学実習で学んだ事項</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>筆記試験(記述式)</p> <p>【学修方略(LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> | <p>松島 潔 辻本 恭久 川島 正達 岡部 直人 神尾 梨紗 吉田 朋美 鈴木 陽子 木山 健 葉山 誠一郎 染谷 真人 和石 幾大 田林 英美 相浦 規雄 澤田 博 上田 一 大喜 央 多 美 五 美 斎 美 藤 美 井 美 酒 美 塩 督 高 俊 瀬 彦 高 知 橋 多 田 香 塚 典 寺 秀 富 敬 中 弘 嶋 真 長 樹 島 潔 中 邦 沼 欣</p> |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--------------------------------|---|--|
| 2018/11/14 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内実習筆記試験 ：歯内療法学実習 で学んだ事項 | 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内療法学実習で学んだ事項 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 筆記試験（記述式） 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 | 馬場 俊晃 松久 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2018/11/14 (水) 3時限 13:10～14:40 | 歯内実習⑧：実技 試験 | 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻川 恭久 本島 正達 岡部 直人 尾田 陽子 吉田 誠 鈴木 朋美 葉山 謙滋 深井 梨紗 齊藤 ひとみ 藤谷 和健 田井 裕理 原浦 千佳 相澤 誠一郎 伊澤 真人 上大 幾人 喜多 林英美 五味 多規 齋藤 博之 酒井 一央 塩井 美彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2018/11/14 (水) 4時限 14:50～16:20 | 歯内実習⑧：実技 試験 | 【準備学修項目と準備学修時間】 歯内実習①～⑦で学んだ手技ができる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 実技試験、人工歯、貸与器具、持参器具 【学修方略（LS）】 実習 【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室 | 松島 潔 辻川 恭久 本島 正達 岡部 直人 尾田 陽子 吉田 誠 鈴木 朋美 葉山 謙滋 深井 梨紗 齊藤 ひとみ 藤谷 和健 田井 裕理 原浦 千佳 相澤 誠一郎 伊澤 真人 上大 幾人 喜多 林英美 五味 多規 齋藤 博之 酒井 一央 塩井 美彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 寺澤 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2018/11/21 (水) | 歯内講義⑨：外科 | 【授業の一般目標】 | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------|--|---------------|
| 1時限 09:00～10:30 | 的歯内療法 | <p>適切な歯内療法ができるようになるために、外科的歯内療法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①外科的歯内療法の意義を説明できる。 ②外科的歯内療法の種類を説明できる。 ③外科的歯内療法の適応を説明できる。 ④外科的歯内療法を応用する理由を説明できる <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯根、根管、歯周組織の構造を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 g 外科的歯内療法</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ⑤外科的歯内療法（手術用実体顕微鏡の利用を含む）の種類と適応を説明できる。</p> | 松島 潔 |
| 2018/11/28 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義⑩：再根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、再根管治療に至る原因とその処置法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①再根管治療の適応を説明できる。 ②再根管治療に至る原因を説明できる。 ③再根管治療の問題点を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の治癒を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 1 2 治療の基礎・基本手技 ケ 歯・歯周組織に対する基本的処置 c 歯内療法</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅶ 治療 2 歯・歯周組織・咬合の治療 ア 基本的術式 b 歯内療法 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。</p> | 辻本 恭久 |
| 2018/11/29 (木) 3時限 | 歯内実習⑩：上顎小臼歯の根管治療 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小臼歯の歯内療法の手技を修</p> | 松島 潔 辻本 恭久 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------|--|---|
| 13:10~14:40 | (1) | <p>得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上顎小白歯のアクセスオープニングができる。 ②上顎小白歯の根管形態を探ることができる。 ③上顎小白歯の根管拡大・形成ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>上顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲滋 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 藤井 美 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中澤 敬 中嶋 弘貴 長嶋 真樹 中沼 潔 馬場 邦欣 久松 俊晃 松本 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2018/11/29 (木) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑨：上顎小白歯の根管治療 (1) | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小白歯の歯内療法の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①上顎小白歯のアクセスオープニングができる。 ②上顎小白歯の根管形態を探ることができる。 ③上顎小白歯の根管拡大・形成ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】</p> <p>上顎小白歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大の概念を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p> <p>アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】</p> <p>実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> <p>301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】</p> <p>歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】</p> <p>E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲滋 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 藤井 美 酒井 美 塩沢 督 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚中 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中澤 敬 中嶋 弘貴 長嶋 真樹 中沼 潔 馬場 邦欣 久松 俊晃 松本 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2018/12/05 (水) 1時限 | 歯内講義⑭：歯内療法後の歯の修復 | <p>【授業の一般目標】</p> <p>適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法後の歯の修復を修得する。</p> | 岡部 達 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|--|--|
| 09:00～10:30 | 歯内講義⑨：歯内療法後の歯の修復 | <p>【行動目標（SBOs）】</p> <p>1. ①歯内療法後の修復の臨床的意義を説明できる。 2. ②歯内療法後の修復の臨床的特徴を説明できる。 3. ③歯内療法後の歯の機能回復の問題点を説明できる。 4. ④歯内療法後の歯の機能回復の注意点を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 根管治療の治癒を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 岡部 達 |
| 2018/12/06 (木) 3時限 13:10～14:40 | 歯内実習⑩：上顎小白歯の根管治療(2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小白歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小白歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小白歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和石 健 菅原 理裕 相浦 千佳 伊澤 誠一郎 上田 真人 大林 幾大 喜多 英美 五味 規雄 齋藤 博之 酒井 一央 塩沢 きよ美 高瀬 督 高橋 彦 田中 知多 塚本 みどり 寺澤 典功 富田 秀朗 中澤 敬 中嶋 弘貴 長島 真樹 中沼 潔 馬場 邦 久松 欣 福田 俊晃 細谷 弘幸 三浦 涼子 村上 史規 本 孝司 山浦 芳弘 賀弘 平和 |
| 2018/12/06 (木) 4時限 14:50～16:20 | 歯内実習⑩：上顎小白歯の根管治療(2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎小白歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎小白歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎小白歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和石 健 菅原 理裕 相浦 千佳 伊澤 誠一郎 上田 真人 幾大 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|----------------------------------|---|--|
| 2018/12/06 (木) 4時限 14:50～16:20 | 歯内実習⑩：上顎 小臼歯の根管治療 (2) | <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 大英 規雄 喜多 博之 五味 一央 斎藤 きよ美 酒井 督 塩沢 彦 高瀬 俊多 高橋 多香 田中 みどり 塚中 典功 澤田 秀朗 寺富 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 馬場 邦欣 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 山浦 平和 賀弘 |
| 2018/12/12 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義⑫：歯内 療法における偶発 事故の予防と処置 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内療法中の偶発事故を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯内療法時に起こりうる偶発症の種類を説明できる。 2. ②歯内療法時に起こりうる偶発症への対応を説明できる。 3. ③歯内療法時に起こりうる偶発症への防止法を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠・歯根の形態を説明できる。 炎症の原因を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 j 偶発症と安全対策</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 神尾 直人 |
| 2018/12/19 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内講義⑬：根管 の形態 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、根管の形態を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①歯種別の根管の形態を図示し、説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯冠および歯根の形態を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、黒板、スライド</p> <p>【学修方略 (L S)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 5 人体の正常構造・機能 ア 全身・口腔の構造と機能 e 器官系 (骨格系 (関節を含む)、筋系、呼吸器系、循環器系 (脈管系)、 消化器系 (歯および唾液腺を含む)、造血器系、泌尿器系・生殖器系、神経系、 内分泌系、感覚器系)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-1) 歯と歯周組織の発生及び構造と機能 ②歯種別の形態と特徴を説明できる。</p> | 松島 潔 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|---------------------|---|---|
| 2018/12/19 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯内講義③：根管の形態 | ⑤歯髄の構造と機能を説明できる。 | 松島 潔 |
| 2018/12/20 (木) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習⑩：上顎大臼歯の根管治療(1) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①上顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎大臼歯の根管口明示ができる。 3. ③上顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎大臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 松島 潔 辻本 正 川島 達 岡部 直 神尾 人 吉田 陽 田中 誠 鈴木 朋 山本 美 深井 謙 藤原 滋 齋藤 梨 谷本 紗 和 ひと 石井 健 菅原 理 相浦 千 伊澤 佳 上田 代 大林 誠 喜多 一人 五味 幾 齋藤 大 酒井 英 塩沢 美 高瀬 規 高橋 博 田中 一 塚澤 央 寺澤 美 富田 香 中澤 多 中嶋 知 長島 み 中馬 どり 久松 典 福田 秀 細谷 朗 村上 敬 本木 弘 山浦 樹 潔 潔 久 久 正 正 達 達 直 直 人 人 陽 陽 子 子 誠 誠 美 美 滋 滋 紗 紗 ひと ひと み み 健 健 裕 裕 代 代 一人 一人 幾 幾 大 大 英 英 美 美 規 規 博 博 一 一 央 央 美 美 香 香 多 多 知 知 多 多 香 香 み み どり どり 典 典 功 功 朗 朗 敬 敬 弘 弘 貴 貴 樹 樹 潔 潔 邦 邦 欣 欣 晃 晃 幸 幸 子 子 規 規 史 史 孝 孝 司 司 弘 弘 平 平 賀 賀 弘 弘 |
| 2018/12/20 (木) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑩：上顎大臼歯の根管治療(1) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①上顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 2. ②上顎大臼歯の根管口明示ができる。 3. ③上顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 上顎大臼歯の形態を説明できる。 歯内療法の前処置としてのう窩処置を説明できる。 根管拡大を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管形成の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、人工歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。</p> | 松島 潔 辻本 正 川島 達 岡部 直 神尾 人 吉田 陽 田中 誠 鈴木 朋 山本 美 深井 謙 藤原 滋 齋藤 梨 谷本 紗 和 ひと 石井 健 菅原 理 相浦 千 伊澤 佳 上田 代 大林 誠 喜多 一人 五味 幾 齋藤 大 酒井 英 塩沢 美 高瀬 規 高橋 博 田中 一 塚澤 央 寺澤 美 富田 香 中澤 多 中嶋 知 長島 み 中馬 どり 久松 典 福田 秀 細谷 朗 村上 敬 本木 弘 山浦 樹 潔 潔 久 久 正 正 達 達 直 直 人 人 陽 陽 子 子 誠 誠 美 美 滋 滋 紗 紗 ひと ひと み み 健 健 裕 裕 代 代 一人 一人 幾 幾 大 大 英 英 美 美 規 規 博 博 一 一 央 央 美 美 香 香 多 多 知 知 多 多 香 香 み み どり どり 典 典 功 功 朗 朗 敬 敬 弘 弘 貴 貴 樹 樹 潔 潔 邦 邦 欣 欣 晃 晃 幸 幸 子 子 規 規 史 史 孝 孝 司 司 弘 弘 平 平 賀 賀 弘 弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--|
| 2018/12/20 (木) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑪：上顎 大臼歯の根管治療 (1) | を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正達 岡部 直人 神尾 陽子 吉田 誠朋 鈴木 美滋 山井 譲 深井 梨紗 齋藤 ひとみ 染谷 健裕 和田 理千佳 石井 裕一郎 菅原 誠真 相浦 真人 伊澤 幾大 上田 英美 大林 多規 喜多 博之 五味 一央 斎藤 美 酒井 美 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 中田 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬貴 中澤 弘樹 中嶋 真潔 中長 邦欣 中馬 晃 久松 幸子 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 上村 芳弘 本木 平賀 山浦 弘 |
| 2019/01/10 (木) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習⑫：上顎 大臼歯の根管治療 (2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎大臼歯の根管充填ができる。 2. ②下顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 3. ③下顎大臼歯の根管口明示ができる。 4. ④下顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管充填を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual（実習書）、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法（直接覆髄法を含む）を説明できる（疾患の細胞レベルでの説明を含む）。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正達 岡部 直人 神尾 陽子 吉田 誠朋 鈴木 美滋 山井 譲 深井 梨紗 齋藤 ひとみ 染谷 健裕 和田 理千佳 石井 裕一郎 菅原 誠真 相浦 真人 伊澤 幾大 上田 英美 大林 多規 喜多 博之 五味 一央 斎藤 美 酒井 美 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 中田 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬貴 中澤 弘樹 中嶋 真潔 中長 邦欣 中馬 晃 久松 幸子 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 上村 芳弘 本木 平賀 山浦 弘 |
| 2019/01/10 (木) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑫：上顎 大臼歯の根管治療 (2) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、上顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. ①上顎大臼歯の根管充填ができる。</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正達 岡部 直人 神尾 陽子 吉田 誠朋 鈴木 美滋 山井 譲 深井 梨紗 齋藤 ひとみ 染谷 健裕 和田 理千佳 石井 裕一郎 菅原 誠真 相浦 真人 伊澤 幾大 上田 英美 大林 多規 喜多 博之 五味 一央 斎藤 美 酒井 美 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 中田 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬貴 中澤 弘樹 中嶋 真潔 中長 邦欣 中馬 晃 久松 幸子 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 上村 芳弘 本木 平賀 山浦 弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|--|--|--|
| 2019/01/10 (木) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑫：上顎 大臼歯の根管治療 (2) | <p>2. ②下顎大臼歯のアクセスオープニングができる。 3. ③下顎大臼歯の根管口明示ができる。 4. ④下顎大臼歯の根管拡大・根管形成ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成を説明できる。 根管充填を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 e 根管充填</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む)を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲滋 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 味 博之 藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2019/01/16 (水) 1時限 09:00~10:30 | 歯内平常試験④： 歯内講義⑯～㉓の 範囲の筆記 (記述 式) 試験 | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯内講義⑯～㉓の範囲の筆記</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、筆記 (記述式) 試験</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | 松島 潔 辻本 恭久 岡部 達 神尾 直人 |
| 2019/01/17 (木) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑬：下顎 大臼歯の根管治療 (1) | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手法を修得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 d 根管処置</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲滋 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 味 博之 藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督彦 高瀬 俊香 高橋 知多 田中 みどり 塚田 典功 澤田 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 中沼 邦欣 馬場 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|---|--|
| 2019/01/17 (木) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑬:下顎 大臼歯の根管治療 (1) | E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む) を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩 督彦 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚 典 寺澤 秀 富田 朗 中澤 敬 中嶋 真樹 中長 潔 中馬 邦 久松 欣 福田 晃 福田 涼 細谷 史 村上 規 本 芳 山 弘 浦 平 賀 弘 |
| 2019/01/24 (木) 3時限 13:10~14:40 | 歯内実習⑭:下顎 大臼歯の根管治療 (2) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:無、スライド、Endodontic Manual(実習書)、天然歯、貸与器具、持参器具 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第4実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 d 根管処置 e 根管充填 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3)-(2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法(直接覆髄法を含む) を説明できる(疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 裕 菅原 千佳 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 喜多 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 美 塩 督彦 高瀬 俊彦 高橋 知多 田中 香 塚 典 寺澤 秀 富田 朗 中澤 敬 中嶋 真樹 中長 潔 中馬 邦 久松 欣 福田 晃 福田 涼 細谷 史 村上 規 本 芳 山 弘 浦 平 賀 弘 |
| 2019/01/24 (木) 4時限 14:50~16:20 | 歯内実習⑭:下顎 大臼歯の根管治療 (2) | 【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、下顎大臼歯の根管治療の手技を修得する。 【行動目標(SBOs)】 1. ①下顎大臼歯の根管充填ができる。 | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 神尾 直人 吉田 陽子 鈴木 誠 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|-----------------------------|--|--|
| 2019/01/24 (木) 4時限 14:50～16:20 | 歯内実習⑭：下顎 大臼歯の根管治療 (2) | <p>【準備学修項目と準備学修時間】 下顎大臼歯の形態を説明できる。 根管形成の概念を説明できる。 根管充填の概念を説明できる。 根管充填の術式、用いる器具・材料を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然 歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 c 根尖性歯周疾患の治療</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 イ 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の治療 b 歯髄除去療法 d 根管処置 e 根管充填</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-3 歯と歯周組織の常態と疾患 E-3-3) 歯と歯周組織の疾患の診断と治療 E-3-3) - (2) 歯髄・根尖性歯周疾患の診断と治療 ①歯髄・根尖性歯周疾患の症状、検査法、診断及び治療法 (直接覆髄法を含む) を説明できる (疾患の細胞レベルでの説明を含む)。 ②根管充填の目的、時期及び方法を説明できる。</p> | 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 佳代 伊澤 誠一郎 澤上 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 喜話 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知香 塚中 みどり 田中 典功 澤田 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 島沼 邦欣 中馬 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2019/01/30 (水) 1時限 09:00～10:30 | 歯内実習⑮：実習 実技試験 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ラバーダム防湿から根管充填までの一連の歯内療法の術式</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然 歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第4実習室</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 尾直 人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 相浦 佳代 伊澤 誠一郎 澤上 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜 多規 喜話 規雄 五味 博之 齋藤 一央 酒井 きよ美 塩沢 督彦 高瀬 俊多 高橋 知香 塚中 みどり 田中 典功 澤田 秀朗 富田 敬 中澤 弘貴 中嶋 真樹 長島 潔 島沼 邦欣 中馬 俊晃 久松 弘幸 福田 涼子 細谷 史規 三浦 孝司 村上 芳弘 本木 平和 山浦 賀弘 |
| 2019/01/30 (水) 2時限 10:40～12:10 | 歯内実習⑮：実習 実技試験 | <p>【授業の一般目標】 適切な歯内療法ができるようになるために、歯内実習で学んだ手技を修得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ラバーダム防湿から根管充填までの一連の歯内療法の術式</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：無、スライド、Endodontic Manual (実習書)、天然 歯、貸与器具、持参器具</p> <p>【学修方略 (L S)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】</p> | 松島 潔 辻本 恭久 川島 正 岡部 達 尾直 人 吉田 陽子 鈴木 誠 葉山 朋美 深井 譲 齋藤 梨紗 染谷 ひとみ 和田 健 石井 理裕 菅原 千佳 |

| 日付 | 授業項目 | 授業内容等 | 担当教員 |
|--------------------------------------|------------------|-------------|---|
| 2019/01/30 (水) 2時限 10:40~12:10 | 歯内実習⑮:実習 実技試験 | 301教室、第4実習室 | 相浦 誠一郎 伊澤 真人 上田 幾大 大林 英美 大喜多 規雄 五味 博之 斎藤 一央 酒井 美 塩沢 督彦 高瀬 知多 高田 香 塚中 みどり 寺田 典功 富田 秀朗 中澤 敬 中嶋 弘貴 長嶋 真樹 中島 潔 中馬 邦 久沼 晃 福松 幸 細田 涼 三谷 史 村上 規 本上 司 山浦 孝 芳弘 平和 賀弘 |